

新・いわき市総合計画

# ふるさと・いわき21プラン

平成27年11月3日(火) 時点

暫定版

取扱い注意

改定後期基本計画

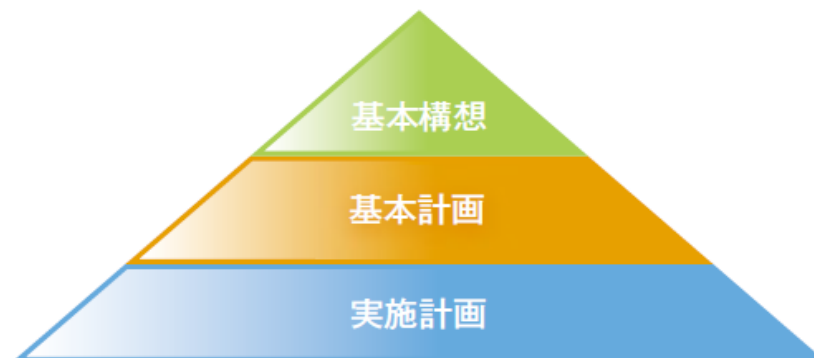
(計画期間：平成28～32年度)

# 目次

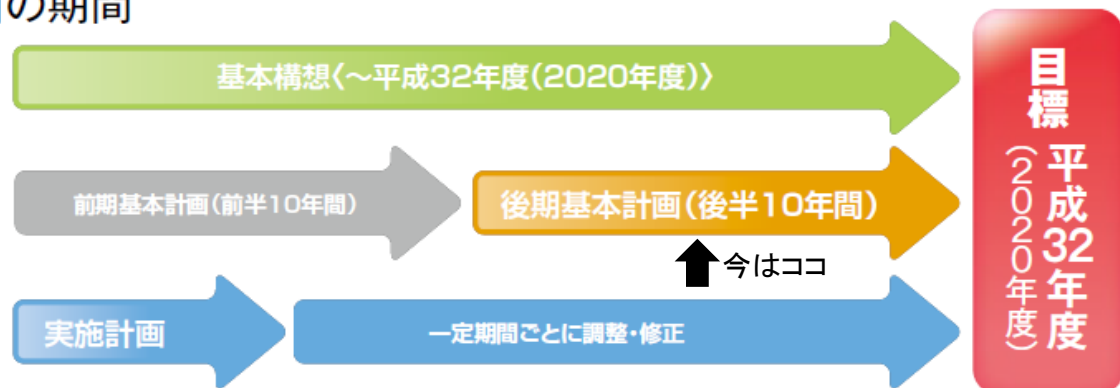
<b>第1章：はじめに</b>	P 1
1 はじめに	P 2
(1) 総合計画とは	
(2) 改定にあたって	
2 人口ビジョン・めざしていく「いわき」の姿	P 4
(1) 人口ビジョン	
(2) めざしていく「いわき」の姿の実現に向けて	
3 重点戦略	P 6
(1) いわき創生総合戦略	
(2) いわきの復興	
<b>第2章：本編</b>	P 9
○ 体系図	
柱0 復興 ～震災前にも増して	P14
柱Ⅰ 美しい環境を守り、育てあう	P22
柱Ⅱ 心をつなぎ、支えあう	P28
柱Ⅲ 学びあい、高めあう	P38
柱Ⅳ 魅力を育み、育てあう	P44
柱Ⅴ 活気を生み、力を伸ばしあう	P50
柱Ⅵ 交わり、連携を強めあう	P60
<b>第3章：実現に向けて</b>	P66
1 市民協働の仕組み	P68
2 基盤としての行財政運営	P71
3 参考資料	P75

# 第1章 はじめに

## 総合計画の構成



## 総合計画の期間



## 【ポイント】

- 総合計画は、地方自治体ごとに策定している長期計画です、一般的には、上記図のとおり、基本構想・基本計画・実施計画の3層で構成されています。
- このうち、基本計画は、基本構想を実現するための取組みを総合的・体系的にとりまとめたものです。現在は、「後期基本計画」の10年間の中間地点となっています。
- 策定から5年間の経過し、東日本大震災の影響や社会経済情勢の変化などに対応するため、今回、後期基本計画を改定することとしました。

## ① 共創と共有

### ○ わたしたちの計画

- ・ 改定計画には、行政が取り組まなければならないことに加え、市民・事業者・各種団体の皆さんが取り組んでいること、さらには皆さんに協力していただきたいことを各分野ごとに記載しました。
- ・ いわきの今後の5年間、さらにはその先の何十年・何百年を皆さんと共に創っていきたい。そんな思いから、市役所の計画ではなく、「わたしたちの計画」とすることを目指しました。

### ○ 分かりやすく伝える

- ・ これからの5年間、わたしたちが何をしていくのかを、皆さんで共有するため、この計画を分かりやすく伝える必要があります。
- ・ まずは皆さんに、この計画を手にとっていただくこと、読んでいただくことを願うため、文言や分量を、できるだけ簡易なものとすることを目指しました。

## ② 選択と集中

### ○ 重点戦略を設定

- ・ 特に、力を入れていく取組みを重点戦略として設定しました。それが「地域創生」と「復興」です。
- ・ 人口減少に歯止めをかけるため、地域創生の取組みを、将来のいわきを支える礎とすべく、最優先で取り組んでいきたいと考えています。同時に、震災からの復興についても、引き続き、しっかりと取り組まなければなりません。

### ○ 目標設定と集中投資

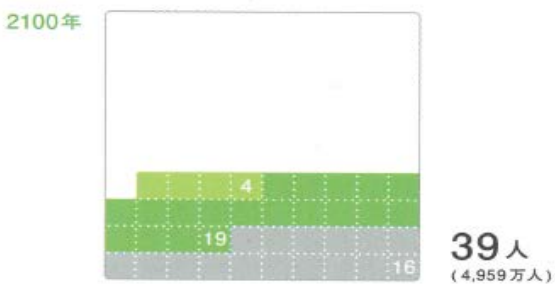
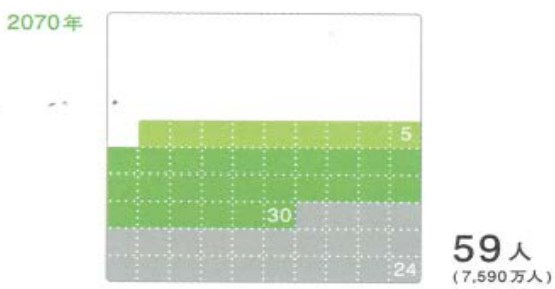
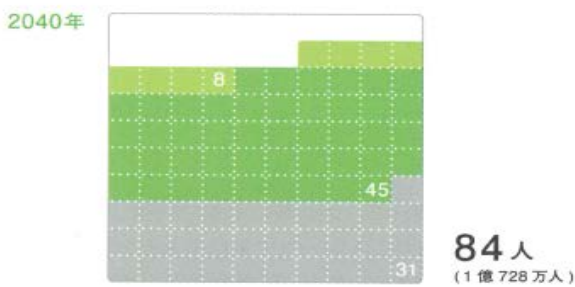
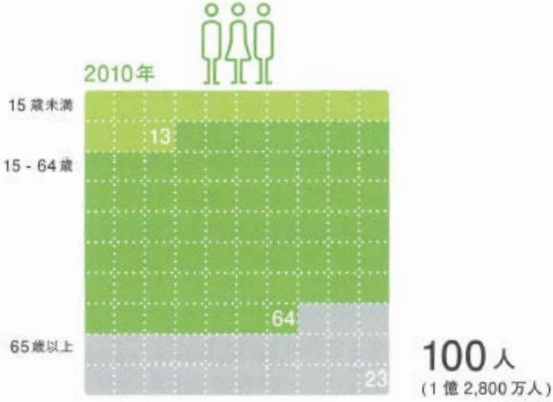
- ・ 全体として重点的に取り組んでいく項目を「地域創生」と「復興」としました。合わせて各分野別にも、力を入れていく取組みを明確にしています。
- ・ 今後5年間で、果たしていく、言わば皆さんとの約束を、成果指標とともにお示ししています。
- ・ 現在、進めている取組みでも、改定計画に記載のないものがあります。広く浅くではなく、選択と集中により、特に力を入れていく取組み鮮明に打ち出していきたいと考えたものです。

2-(1)

人口ビジョン

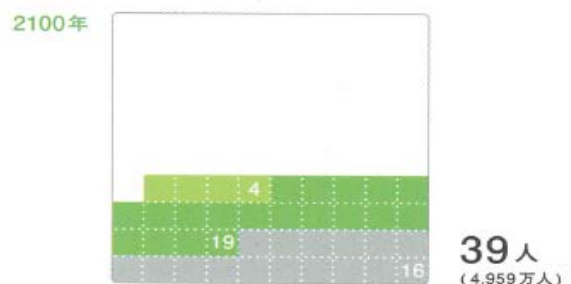
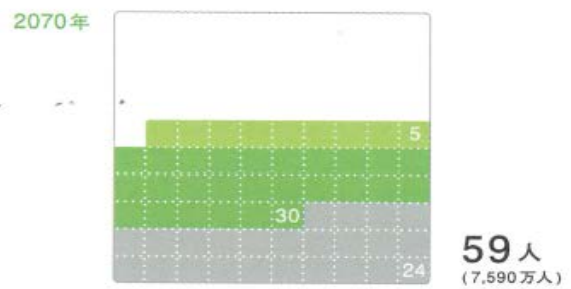
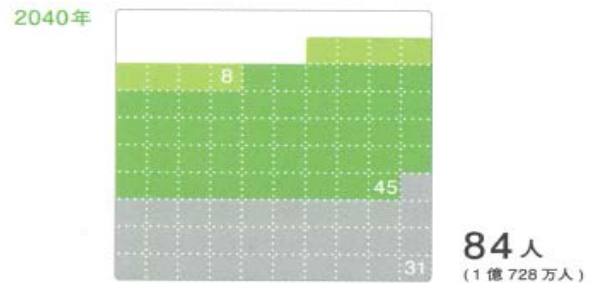
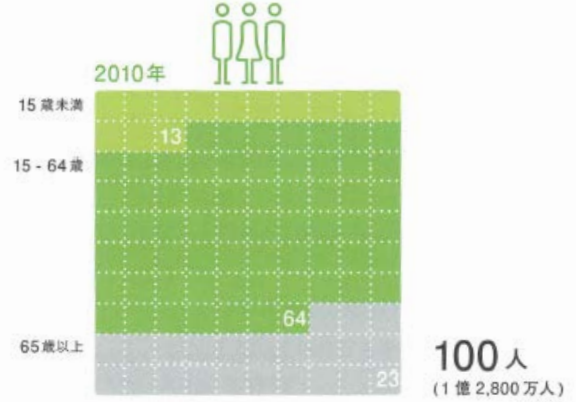
今のままで人口は…

※今のいわきの人口を100人とした場合



いわき創生総合戦略を進めると人口は…

※今のいわきの人口を100人とした場合



それでも減ってしまう。だから…

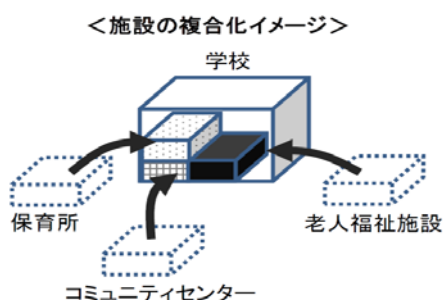
## ① いわきのコンパクト

人口は減ります。特に、中山間地域ではその傾向が顕著です。また、平・小名浜なども地区内で一様ではありません。沿岸地域もあれば、商店街、住宅地もあります。

まちの多様性がいわきの魅力。だから、中山間地域に住む人を市街地に誘導するようなコンパクト化ではなく、市街地にも中山間地域にも、それぞれにコミュニティが維持できるような、拠点・仕組みが必要です。

多くの機能が集まれば、多くの人が集まってくる。例えば、地区内の支所や学校、保育所、介護施設、産直販売所、食堂が一カ所に集まっていれば、世代を超えて、お年寄りから子どもたちが集まってきます。

そんな、人がつながる場所と仕組みを、「いわきのコンパクト」にします。



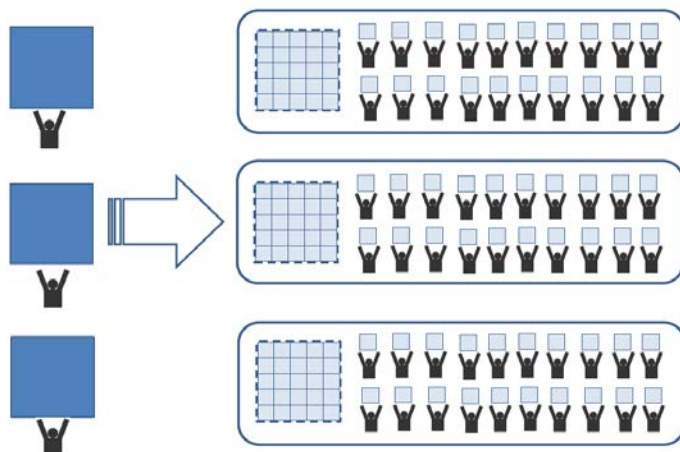
## ② 活動人口を増やす

何らかの社会活動に参加してくれる方々の数を「活動人口」といいます。

総人口が減少しても、活動人口が増えていくまちは、活気にあふれています。

人口減少が進む中、今まで以上に多くの人働き、支えあうこと。誰かがやっているのではなく、わたしもあの人もやっている。

そんな、一人ひとりが、地域とつながる社会を目指します。



3-1)

いわき創生総合戦略

取組の視点

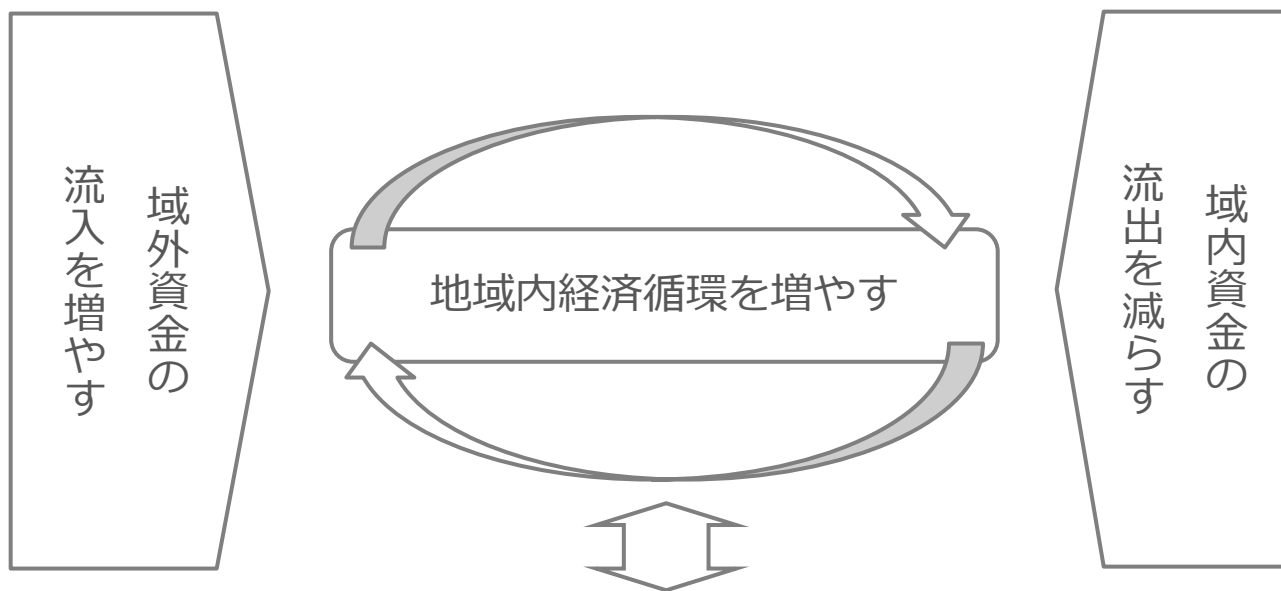
若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現させる

ヒト・モノ・カネの域内循環の促進

ヒト・モノ・カネを外から呼び込む

市内の地域資源を最大限活用する

いわき創生のベクトル



まちづくり

- ・暮らしやすく魅力的なまち

しごとづくり

- ・新たな雇用
- ・適切な賃金

ひとづくり

- ・雇用の担い手のレベルアップ

人口動態の好循環



## しごとを産み出す

- ①域外からの誘導（企業誘致、業務機能の集積）
- ②新たなプレイヤーの創出（起業家の育成・支援）
- ③魅力ある仕事の創出（新たな成長産業の創出）
- ④担い手の確保（地元就労者・新規参入者の支援、人材育成）

## しごとの質を高める

- ①既存事業の磨き上げ（販路拡大、新技術開発）
- ②一次産業の成長産業化（6次化、生産性向上、競争力強化、ブランド化）
- ③新分野への進出（成長産業への参入促進）
- ④多様な連携（ビジネスマッチング、域内調達の促進、産学金連携、支援機関の機能強化）

## ひとを産み育てる

- ①希望者を結婚に導く（機会（相談・出会いの場）の創出、結婚イメージの改善）
- ②出産のハードル解消（不妊治療支援、仕事と子育ての両立）
- ③子育て環境の充実（保育・預かりサービスの充実、経済的負担の軽減）

## ひとをつくる

- ①将来を担う人材の育成（郷土愛を育む、意欲ある人材の育成、地域での人材育成環境構築）
- ②教育の質の向上（小・中・高・大学の魅力を高める、アクティブラーニングの充実）
- ③女性の活躍の推進（家族、地域による支援体制構築、雇用主による労働環境構築）

## いわきの魅力を高める

- ①市街地の活性化（店舗・商業施設の魅力向上、生活利便性の向上、情報通信基盤の充実）
- ②中山間地域の活性化（生活基盤の維持、地域外との交流の活性化、情報通信基盤の整備）
- ③地域資源の活用（いわきライフの構築、地域資源の多様な連携）

## いわきの魅力を伝える

- ①プロモーションの強化（魅力的な観光ルートの提案、いわきライフ（ライフスタイル、仕事、住宅等）の提案、合宿需要の呼び込み）
- ②地域情報の共有化（いわきを知る・学ぶ機会を増やす（地域学・データベース化など）、いわきの楽しみ方提案）
- ③インバウンドの促進（可能性・実証調査研究、情報・看板等の多言語対応）

※具体的な取組の内容は、第2章のそれぞれの柱ごとに位置付けています。

復興の両輪 ～本格的な生活再建に向けて～

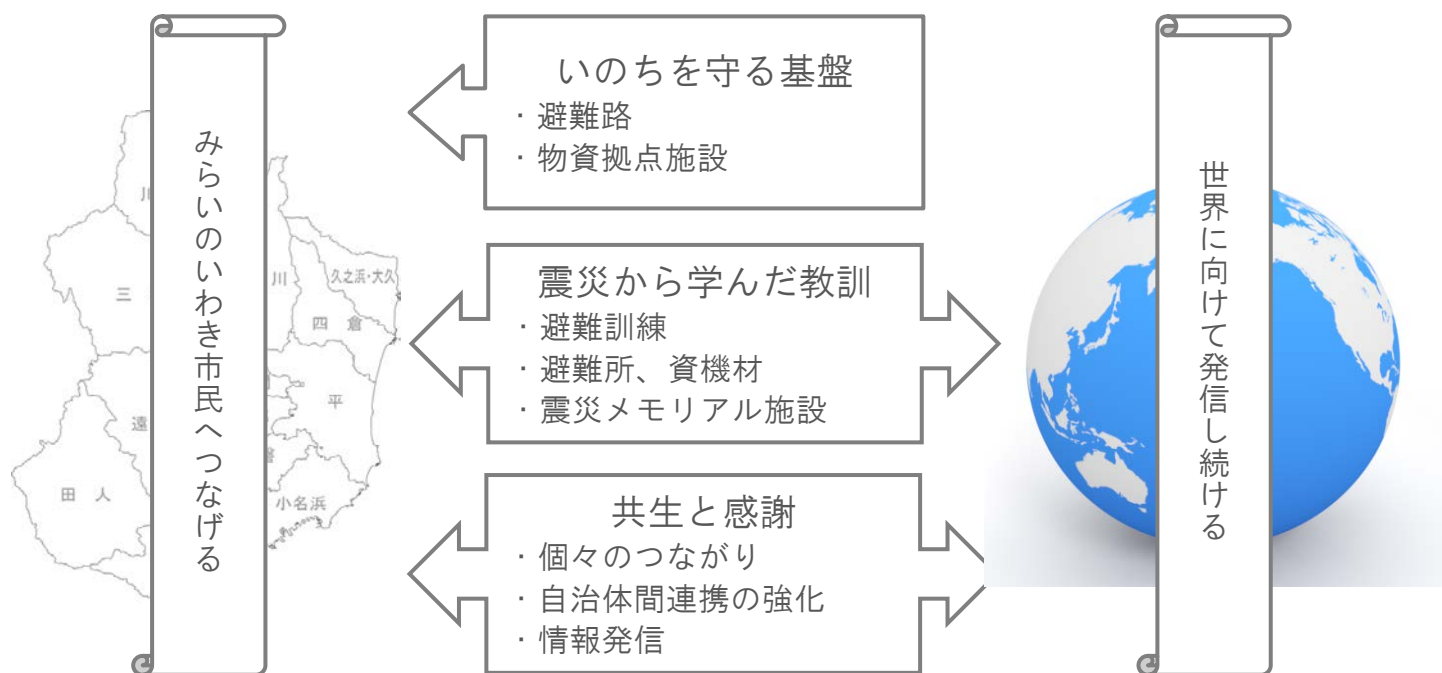
くらしの復興

- ・住まいとコミュニティ
- ・放射線
- ・さらなる安全・安心

しごとの復興

- ・風評の払拭とその先へ
- ・生業と賑わいを取り戻す
- ・廃炉とイノベーション

後世につなげる、他地域の方々に伝える



※具体的な取組の内容は、第2章の柱0に位置付けています。

# 改定・後期基本計画

## 第2章 本編

# 体系図

柱	分野	項目
<b>0 復興 ～震災前にも増して</b>		
0	1 暮らし	(1) 住まいとコミュニティ (2) 放射線 (3) 震災前にも増して
	2 しごと	(1) 風評の払拭ともう一歩先へ (2) 「なりわい」と「賑わい」を取り戻す (3) 廃炉とイノベーション
	3 防災	(1) 災害に備える (2) いのちを守る
	4 共生と感謝	(1) 共に生きる（チーム浜通り） (2) 復興の姿を発信～感謝を忘れない
<b>I 美しい環境を守り、育てあう</b>		
I	1 エネルギー	(1) 地産地消で循環を生み出す (2) クリーンエネルギー
	2 ゴミ・資源	(1) ゴミを減らす＝リサイクル率を高める (2) ポイ捨て・不法投棄をなくす
	3 自然を守り、引き継ぐ	(1) まもる (2) ふれる (3) つなぐ

## II 心をつなぎ、支えあう

1 共に生きる(くらしと権利)	(1) 認めあい、理解しあう (2) 共に生きるために(共に生きる仕組み) (3) 結婚
2 産む・育てる	(1) いわきで産む(妊娠・出産・産後) (2) いわきで育てる(育児・子育て)
3 健康・医療	(1) 健康 (2) 医師確保 (3) 医療提供体制
4 住み慣れた地域で暮らす	(1) 理解し尊重しあう (2) 助け合う (3) 仕組みをつくる
5 くらしの安心	(1) 日々のくらしの安全 (2) 社会保障

## III 学びあい、高めあう

1 教育	(1) 幼稚園・保育所 (2) 小・中学校 (3) 高校・大学など
2 スポーツと生涯学習	(1) スポーツ (2) 生涯学習
3 歴史・伝統・文化・芸術	(1) 歴史・伝統を学び、伝える (2) 文化・芸術にふれる、創る

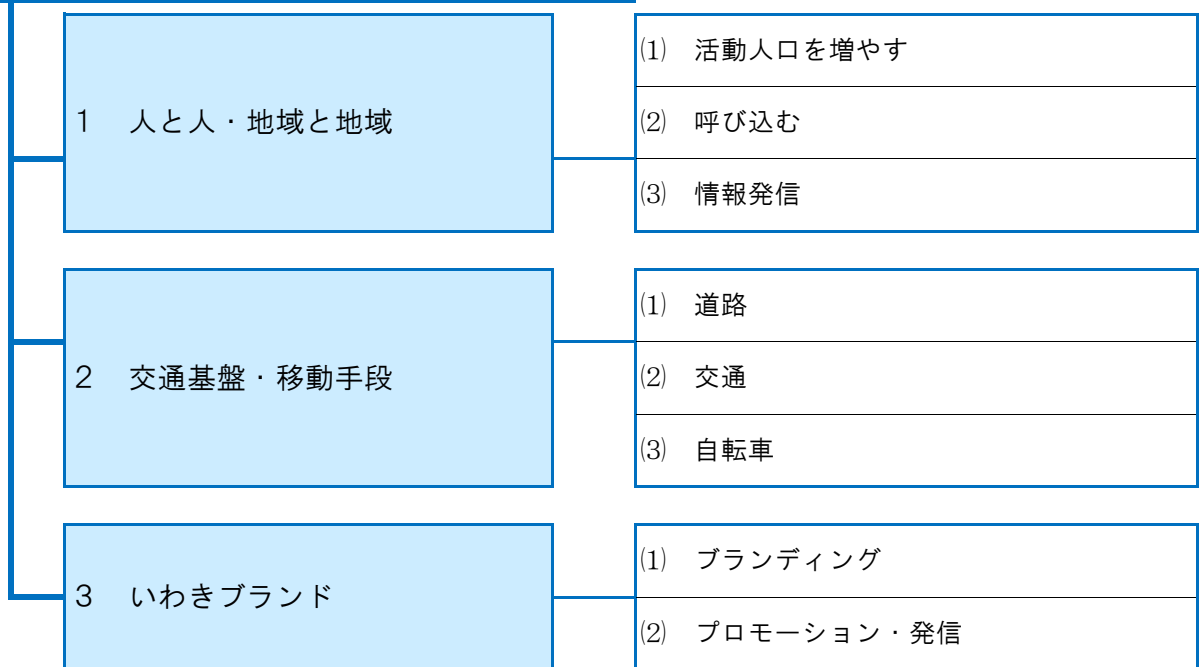
## IV 魅力を育み、磨きあう

1 住まい・住み良さ	(1) もっと住みやすく
	(2) 土地利用
2 中山間地域・沿岸域	(1) 地域の核・拠点をつくる
	(2) 域内循環で地域の収支を良くする
3 まち	(1) 日々の暮らしの中のまち
	(2) ワクワクするまち

## V 活気を生み、力を伸ばしあう

1 働く	(1) いわきで働く
	(2) 自分らしく働く
2 稼ぐ力と経営力	(1) 人材育成
	(2) いわきでいわきをつくる
	(3) 創業支援
3 農林水産業	(1) 地産地消（攻める・稼ぐ）
	(2) 基盤を固める
4 工業・商業・サービス業	(1) 工業
	(2) 商業・サービス業
	(3) 職人・中小企業・地場産業
5 観光	(1) 戦略を立てる
	(2) お越しいただく方々に向けて
	(3) おもてなしする私たち

## VI 交わり、連携を強めあう



## 方針

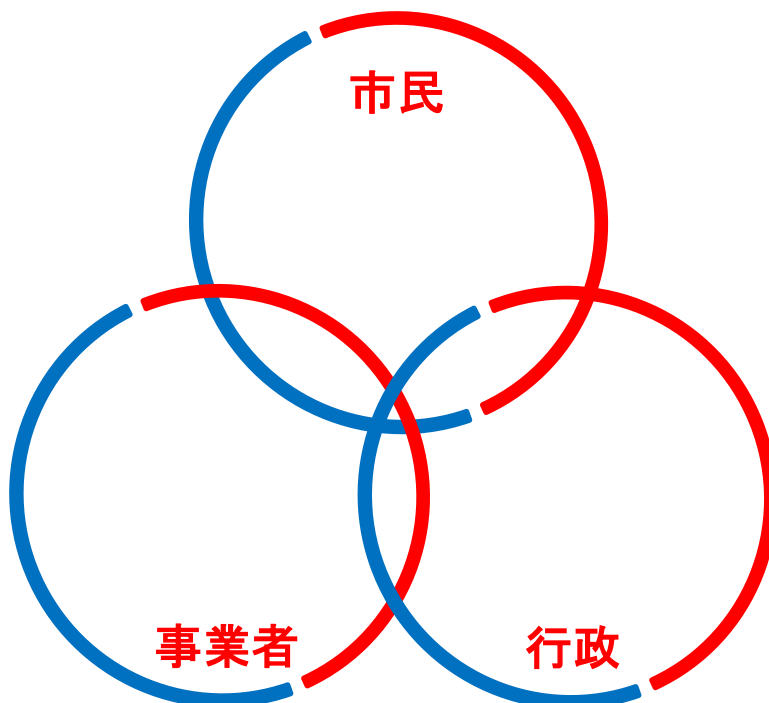
- ・本格的な生活再建の基礎となるのは“住まい”と“しごと”です。すべての仮設・一時借上住宅を解消し、被災された方々の住まいの復興を一日も早く実現します。
- ・原発事故を乗り越えるため、除染を進め、モニタリングを行います。そして、それを正しく理解し、伝え合い、共有します。
- ・“震災前にも増して”、震災前よりつながりがあり、暮らしやすいコミュニティの形成を目指し、真の復興を成し遂げます。

## 【現状・課題など】

- ・震災復興土地区画整理事業は、宅地の引渡しを徐々に開始しています。
- ・除染は、仮置場の選定に困難を極めています。

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



市除染実施計画



項目

行政経営部

都市建設部

保健福祉部

こどもみらい部

農林水産部

● 構成する主な取組み

(1) 住まいとコミュニティ

目標

仮設住宅、一時提供住宅を解消します。  
 新たな住まい、新たな隣近所（コミュニティ）で、震災前にも増した、つながりをつくれます。  
 コミュニティとつながりがしっかり形成されるまで、心のケアや見守りを継続します。

成果指標

仮設・一時借上げ住宅数

現状値

1,400世帯

将来目標値

0世帯

① 住まい

- ・引っ越しへの助成など、災害公営住宅災害の入居を支援します。
- ・防災集団移転促進事業や土地区画整理事業で宅地を造成し、併せて、防犯灯や集会所等を整備します。

② コミュニティと“つながり”

- ・震災前から続く隣近所と、新たに形成される隣近所。被災された方々とボランティアの方々。互いに思いやり、支えあう関係をつくりましょう。

(2) 放射線

目標

原発事故に正面から向き合います。  
 そのためには、適切な情報発信と、正しい理解が欠かせません。

成果指標

除染実施率

現状値

0%

将来目標値

100%

① 健康とリスクコミュニケーション

- ・食べ物の検査を徹底し、その結果が見えるようにします。
- ・放射能の健康への影響を検査し続け、正しく理解し、正しく伝え合っていきます。

② 除染とモニタリング

- ・住まいをはじめ、日々の暮らしの空間の除染をしっかり進めます。
- ・モニタリングを継続します。

(3) 震災前にも増して

目標

震災により、多くの悲しみと苦しさを経験しました。だからこそ、震災前にも増して、住みやすい暮らしを目指します。

成果指標

相談件数

現状値

0件

将来目標値

0件

① 戻すから、さらに上へ

- ・交通網の再編や、まちなみに配慮した魅力ある景観づくり、一体感を醸成する地域の活動への支援など、震災前より、少しでも安全・安心で、暮らしやすい、住まいとコミュニティをつくります。

## 方針

- ・ 風評を5年間で完全に払しょくすることは難しいかもしれませんが。それでも、立ち止まらずに、その先へ進むための確実な一步一步を積み重ねます。
- ・ 住まいと同様、震災前の「なりわい」を取り戻します。
- ・ このピンチをチャンスに変える仕掛けが必要な時です。新たな産業、新たな成長で、震災と原発事故を乗り越えます。

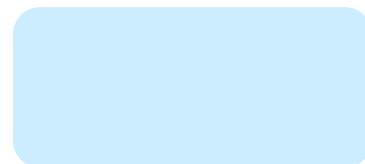
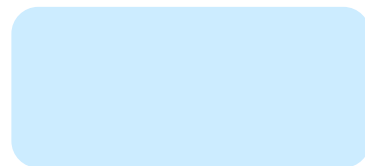
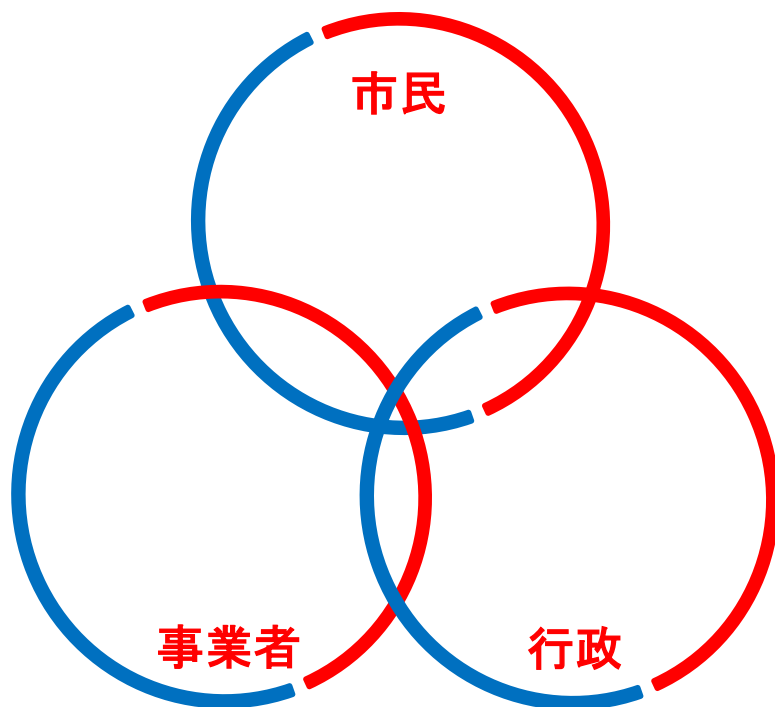
## 【現状・課題など】

## ○ 売上等の推移

区分		震災前	一番悪い時	H26
農作物	量	2,598t	2,283t	2,407t
	額	744,132千円	595,404千円	685,616千円
水揚げ	量	20,123t	3,474t	5,744t
	額	21,692,080千円	493,661千円	658,335千円
観光客数	人	10,541,582人	3,678,920人	7,747,985人
	宿泊	969,155泊	512,066泊	749,661泊

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



項目

農林水産部

商工観光部

行政経営部

● 構成する主な取組み

(1) 風評の払拭ともう一步先へ

目標

まずは、震災前に少しでも近づくこと。それがスタートラインです。  
そして、そこから一步でも先に進みます。

成果指標

取引額等

現状値  
農 : 6.8億円  
水産 : 6.5億円  
観光 : 75 万泊

将来目標値  
農 : 7.4億円  
水産 : 216億円  
観光 : 96万泊

① 風評の払拭

- ・売上高や生産・水揚量、観光客を、震災前に戻すため、正しい情報を世界に発信します。

② 震災前にも増して

- ・いわき産物の量を増やし、質を高めていく必要があります。そして、”いわき産”のブランドイメージをつくり、広めます。

(2) 「なりわい」と「にぎわい」を取り戻す

目標

わたしたちが取り戻すのは当たり前の日常です。震災前にあった当たり前の「なりわい」と「にぎわい」、「暮らし」を取り戻します。

成果指標

産業従事者数

現状値  
農業 : 〇人  
林業 : 〇人  
水産業 : 〇人  
観光業 : 〇人

将来目標値  
農業 : 〇人  
林業 : 〇人  
水産業 : 〇人  
観光業 : 〇人

① なりわい

- ・農林水産、商工、観光の分野で、震災前の”なりわい”を取り戻したいという意欲を持った方、新たにチャレンジしたいという方を応援します。

② にぎわい

- ・被災地に、人とにぎわいと活気を取り戻します。
- ・いわきの夏と言えば海水浴。安全を確認しながら、海水浴場の開設数を増やします。
- ・子どもたちの声が戻ってくるよう、被災した沿岸部の学校・保育所・児童クラブを復旧します。

(3) 廃炉とイノベーション

目標

長い歳月を要する前人未到の廃炉作業と、そこから生まれる知識、技術、情熱、人材の新技术や新産業への展開を目指します。

成果指標

廃炉研究(合宿等)の開催件数

現状値  
0件

将来目標値  
…件

① 廃炉とイノベーション

- ・原発の廃炉は、30年から40年という長期間にわたる前人未踏の挑戦です。世界でも類例のないこの挑戦に、人が、知恵が、熱意が集まり、そして、それが育つ“いわき”を目指します。
- ・廃炉作業や研究における地元企業の参入や、ロボットをはじめ、新たな技術や新たな産業への展開も目指します。

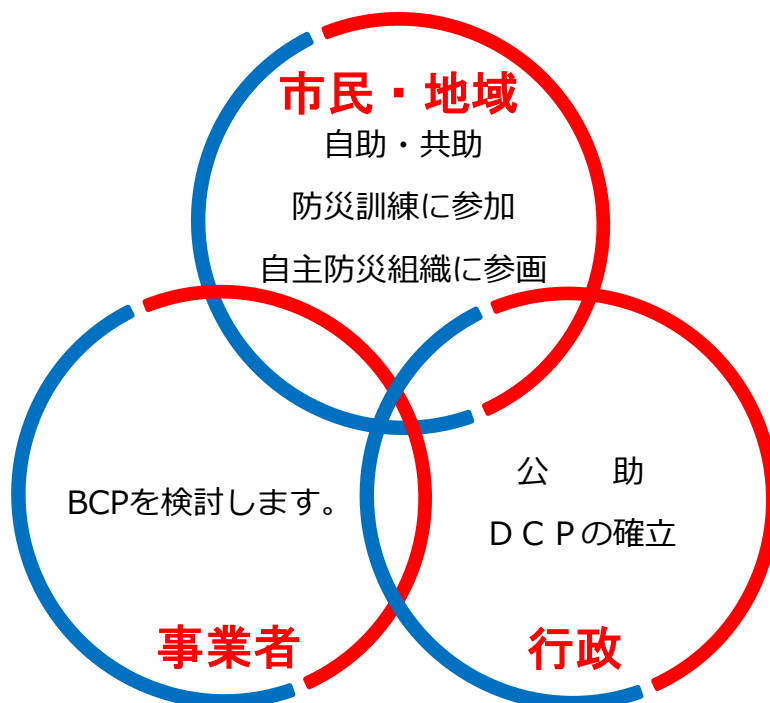
## 方針

- ・ 万が一、再び大震災が起きたとしても、一人の命も失わないこと。それが、多くの悲しみとともに、かけがえのない教訓を手にしたわたしたちの責務です。そして、その教訓を、次の世代や国内外（他の地域）にしっかりと伝えていきます。
- ・ 地震、津波だけではなく、台風、ゲリラ豪雨などの自然災害や原子力災害に対しても、ハード・ソフトの両面で備え続けます。

【現状・課題など】

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



地域防災計画

市メモリアル計画

項目

行政経営部

土木部

都市建設部

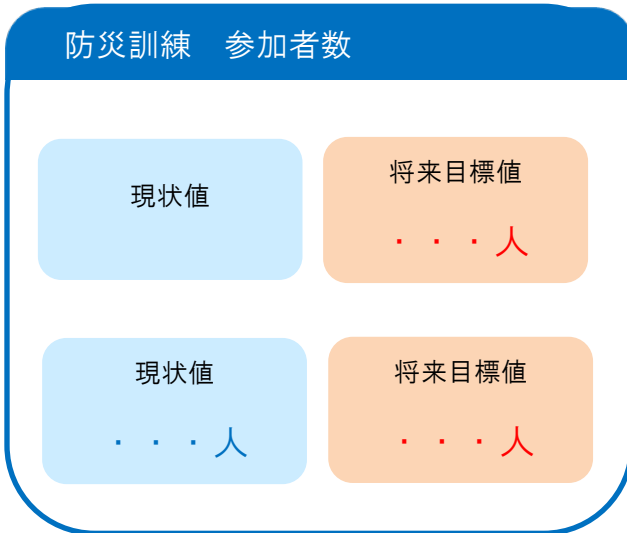
● 構成する主な取組み

(1) 災害に備える

目  
標

災害がいつ起きるのかは、誰にも分かりません。高い防災意識、危機意識を維持し続けるためには、記憶を風化させずに、決して忘れないこと。そして、それを世代と地域を超えて、伝え続けることが大切です。

成  
果  
指  
標



① 忘れない、伝え続ける

- ・あの時、何が起きて、わたしたちは何をしたのか。そして、どうすべきだったのか。震災を経験したわたしたちは、記録を保存し、教訓を学び続け、次の世代へ、他の地域へ、伝え続けなければなりません。
- ・震災メモリアル施設を、そのシンボルとなるものとして整備します。
- ・中核となる震災メモリアル施設に加え、各地域で既に始まっている取組みを組みあわせ、市全体として共有します。

② 備え続ける

- ・災害が起きたときに、わたしたちは、一人ひとりが、どうすべきかを判断でき、行動できるよう、訓練を欠かしません。
- ・避難の際の体制や連携、避難する場、物資、資機材も備え続けます。

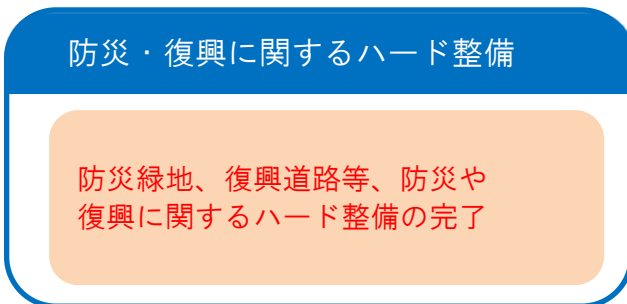
(2) いのちを守る

目  
標

地震、津波、風水害などから市民の皆さんの命と財産を守るために、災害を未然に防ぐことや、少しでも被害を小さくすることなど、防災力を高めます。

一人ひとりに、お住まいの地域の災害リスクを把握していただくとともに、施設の耐震化などにも努めていきます。

成  
果  
指  
標



① 道路、河川等のインフラ整備

- ・命を守ることを最優先とし、避難するための道路を整備します。
- ・津波、水害、土砂災害(がけ崩れ)に対する防災力を高めます。
- ・大規模災害時における物資の拠点施設を整備します。

② 情報共有・耐震化支援

- ・洪水や津波の浸水シミュレーションの結果を、皆さんにお知らせします。
- ・土砂災害、がけ崩れについて、各地区の危険性を把握するとともに、危険な箇所からの移転を支援します。
- ・木造住宅や多くの方々が利用する施設の耐震化を進めます。

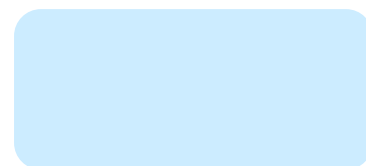
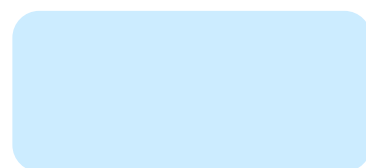
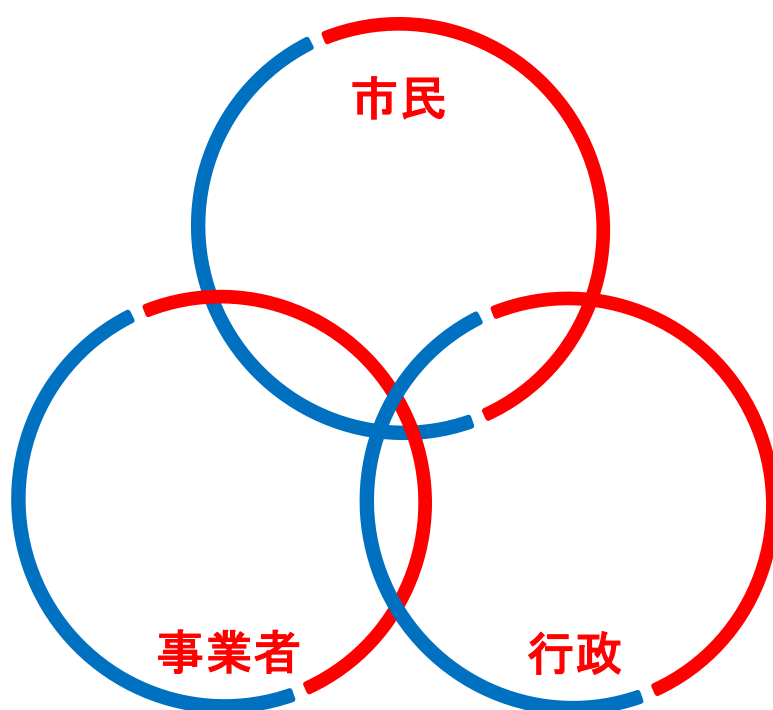
## 方針

- ・今、いわきには、原発事故の影響により、多くの方々が避難されています。避難されている方々とわたしたちが、共に快適に暮らしていくためには、お互いの気遣い・心配りが大切です。
- ・震災直後から、現在に至るまで、世界中から数えきれない支援を受けています。支援に対するお礼として、震災から立ち上がった“いわき”をお見せして、感謝の気持ちを届けます。

【現状・課題など】

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



● 構成する主な取組み

(1) 共に生きる（チーム浜通り）

目標

これまででも、そしてこれからも、避難されている方が、ふるさとに帰れる日まで、全力でサポートします。

すぐには帰れない方々もいます。今、この時、同じいわきに暮らす仲間と、顔と名前が分かる、個人としてつながります。

個人だけではなく、自治体間も連携を強めます。チーム浜通りは、これまで以上に、一致団結して、この困難を乗り越えます。

成果指標



① 個々のつながり

- ・例えば、隣組の仲間として迎い入れること。朝、ゴミを出した時に、あいさつをすること。商店で買い物をしている時に会釈を交わすこと。特別なことではない、ごく普通の日常をともに過ごすことが出発点です。

② 自治体間の連携

- ・浜通りの市町村と連携するための意見交換の場を、今まで以上に回数も内容も充実・強化していきます。

※ 避難者の皆さんへ

- ・隣組に入ること、市民総ぐるみ運動に参加すること、地区の行事に参加すること。ぜひ、協力してください。
- ・住民票はふるさとにあるかもしれませんが、今、皆さんは「いわき」で暮らすわたしたちの一員です。

(2) 復興の姿を発信～感謝を忘れない

目標

わたしたちは、個人として、地域として、そして、いわき市全体として、様々な支援と応援をいただいています。

機会を捉えながら、感謝の気持ちと言葉を伝えていきましょう。

復興した、元気なわたしたちを発信し、それを届けることが、感謝とお礼につながります。

成果指標



① 感謝を伝える

- ・これまでの支援に対して感謝を伝えるとともに、市民の皆さんの連帯感を強め、更なる復興へ向け、決意を高めていきます。
- ・市外の方へ、支援に対する感謝を伝えます。市外へ赴いた時、市外からの方をもてなした時、一言「ありがとう」の言葉を添えましょう

② 復興の姿を発信する

- ・暮らしもなりわいも、まずはしっかりと復興を成し遂げること。そして、それを世界に向けて発信していくことが必要です。
- ・いわきの元気を見せることが、風評の払拭にもつながります。

## 方針

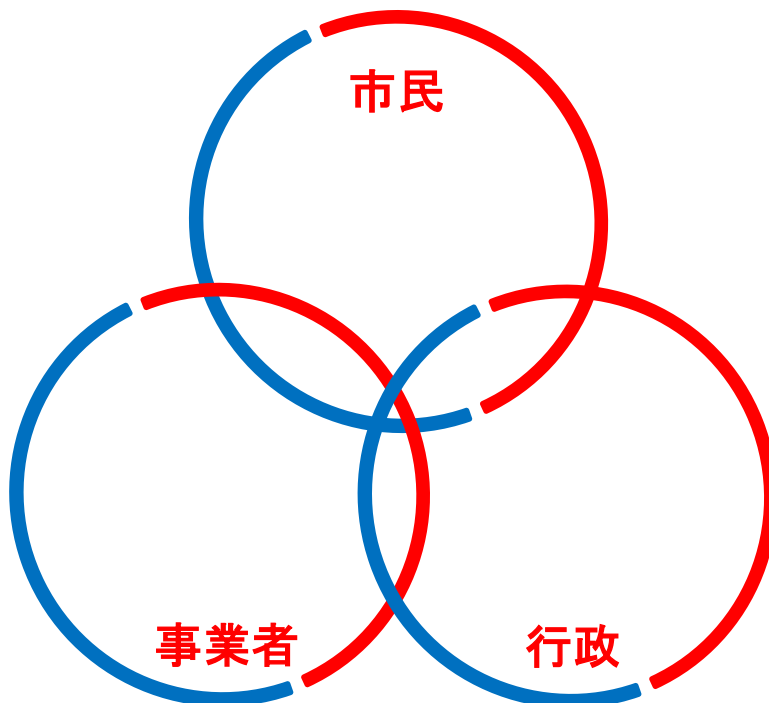
- ・いわきは、エネルギーの大きな変化を乗り越えながら、エネルギーとともに生きてきました。そして、今また、原発事故による大きな困難と変化の時が訪れています。
- ・今度は、先人たちの知恵を受け継ぐわたしたちが、自らの力で乗り越える番です。
- ・災害時にも対応できるまち、化石燃料の使用を抑え、持続可能で環境負荷の低いまちを目指すとともに、クリーンエネルギーのまちを実現し、原発事故のイメージを上書きします。

## 【現状・課題など】

- ・化石燃料（ガソリン、石油、灯油、石炭）や、それらにより作られた電気を使うと、二酸化炭素が発生し、地球温暖化を招くばかりでなく、いわきの外から買うので、お金もいわきの外へ出ていってしまう。

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



環境基本計画



● 構成する主な取組み

(1) 地産地消で循環を生み出す

**目 標**

化石燃料から、自然の力などの再生可能・循環型のエネルギーへと転換します。

化石燃料由来のエネルギーを減らすと、二酸化炭素も減らすことができ、地球にも優しく、さらには、地産地消により、いわきの外へ出ていくお金も減ります。

安定したエネルギーの供給により、災害時の安心も確保されます。

**成果指標**



① ムダを減らす（省エネ）

・化石燃料由来のエネルギーの利用を減らすため、まずは、家庭から、事業所から、省エネに取組みましょう。

② 循環型を伸ばす、見つける

・太陽光をはじめ、わたしたちの周りにある再生可能な力を、エネルギーとして利用していきましょう。

・既に利用しているものは、もっと利用を伸ばしていきましょう。

・まだ使っていないもので、使える、使えそうなものを探していきます。例えば、小水力、地中熱、工場などの余った廃熱、木質バイオマスなど。

③ つなぐ

・自分たちは使わないものでも、それを使いたい人があるかもしれません。

・そのままでは、使えないものもひと手間、一工夫で使えるようになるかもしれません。人と人、ニーズとシーズをつなぎます。

(2) クリーンエネルギー

**目 標**

エネルギーの地産地消を拡げていくことは、わたしたちの暮らしが豊かになっていくことにつながります。

そこから、その先を目指し、エネルギーの地産地消の技術や設備、仕組みをビジネスとして、官民が連携して展開します。

原発事故から立ち上がるため、クリーンエネルギーのまち「いわき」へと、イメージを変え、地域の強みにつなげます。

**成果指標**



① ビジネスに変える

・産業界、行政機関、大学等研究機関、金融機関が一丸となり、エネルギーの地産地消に関する技術開発や組み合わせなどへ支援をはじめとした取組みを展開します。

・技術や設備、仕組みなどの導入に対する支援も行い、市内の技術等の普及・拡大を進め、市外への販売・展開につなげます。

② イメージを変える

・地産地消、更にはエネルギー関連ビジネスの集積・発展により、原発事故から、クリーンエネルギーへ、イメージを上書きします。

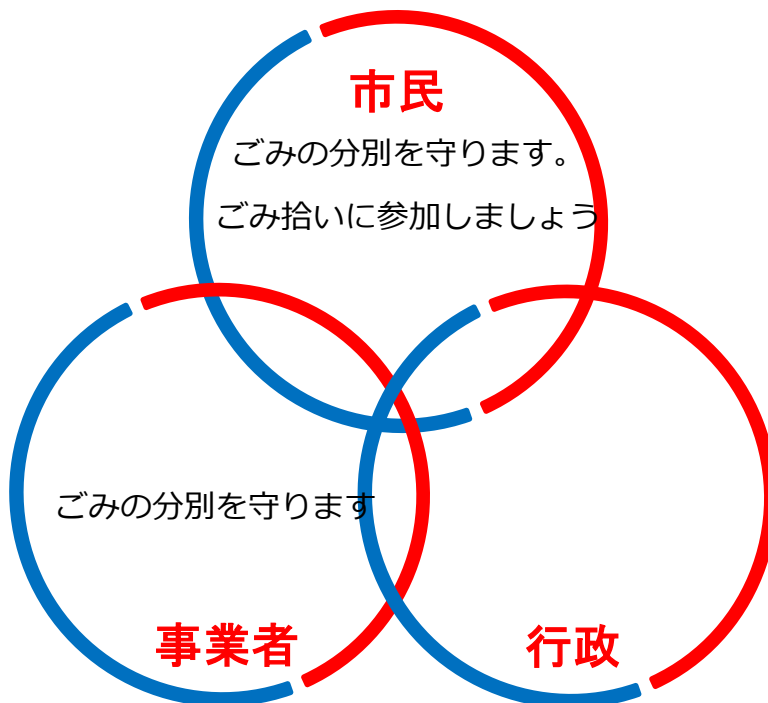
## 方針

- ・ 資源を増やし、ゴミを減らすこと。無駄なものは買わず、過剰包装は断るといった、ゴミになるものを抑えるスマートな暮らしはもとより、再利用できるものをきちんと分別して出すと、それはゴミではなく資源になります。
- ・ まちのゴミを減らすこと。集積所に出されていないゴミ、ポイ捨てや不法投棄というゴミを減らします。

## 【現状・課題など】

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



環境基本計画

ごみ処理基本計画

# 項目

生活環境部

## ● 構成する主な取組み

### (1) ゴミを減らす≒リサイクル率を高める

目標

ゴミになるか、資源になるかは分別で決まります。分別のルールを守り、リサイクル率を高めることで、「ゴミ」になってしまうものを減らします。

資源となるもの、リサイクルできるものも増やしていきます。

成果指標

#### リサイクル率

現状値

20.0%

将来目標値

35.0%

#### 市民一人あたり年間ごみ排出量

現状値

1,000g/人/

将来目標値

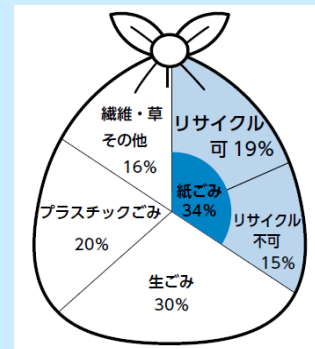
900g/人/年

#### ① 分別・リサイクル

- ・現在のごみの分別を、きちんと守ることを徹底し、リサイクル率を高めます。

#### ② 資源に変える

- ・ゴミではなく、資源として利用できるもの、種類を増やしていきます。
- ・家庭・事業者・行政が協力して取り組む姿勢が大切です。
- ・例えば、家庭やレストラン、スーパー、給食センターなどから出る生ゴミ、食品残さの活用などを検討します。



### (2) ポイ捨て・不法投棄をなくす

目標

まちの美化に努め、ポイ捨てや不法投棄も減らしていきます。いわきから、「ゴミ」がどんどん無くなっていきます。

捨てない、捨てさせない、捨てられないきれいなまちを目指します。

成果指標

#### ごみ拾い、美化活動 参加者数

現状値

延000000人

将来目標値

延1111111人

#### ① ポイ捨て

- ・ゴミを拾う人、団体、活動を増やしていきます。ゴミ拾いや美化活動に参加すると、ゴミを捨てる側にはなりません。
- ・ゴミを拾う人、活動を増やすことで、捨てる人を、捨てる行為を減らしていきます。

#### ② 不法投棄

- ・ポイ捨てや不法投棄を防止する取組みとして、引き続き、普及啓発や監視パトロールを継続します。

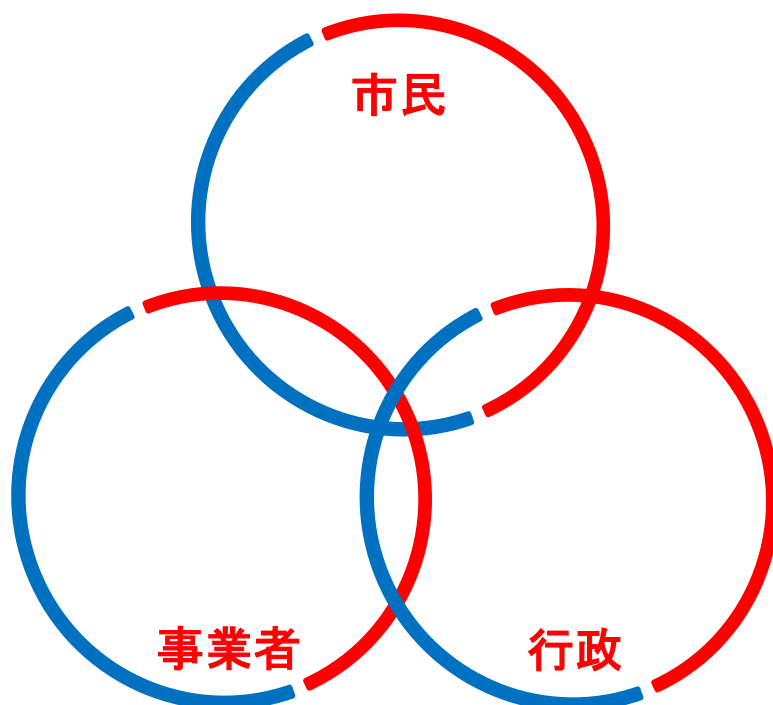
## 方針

- ・ふるさと“いわき”の大きな要素の一つに風景、自然があります。その風景や自然を、次の世代に引き継いでいきます。
- ・わたしたちの時代や暮らし方で、自然や生態系を汚したり、損なったりしないようにします。
- ・自然の恵みをいただいたり、自然の力を使わせてもらいながら、自然にふれ、感謝し、共に生きていきます。
- ・人と自然、中山間地域～都市部～沿岸域、森から海への大きな自然の循環やつながりをしっかりと意識して、共に生きていきます。

【現状・課題など】

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



環境基本計画

## 項目

生活環境部

農林水産部

教育委員会

水道局

### ● 構成する主な取組み

## (1) まもる

**目 標**  
わたしたちの暮らしや活動が、いわきの自然や生活環境を汚したり、損なったりしないようにします。  
また、動植物の適正な生態系を守ります。

**成果指標**

#### イノシシの安定生息数

現状値  
約1万頭

将来目標値  
約1千頭

### ① 自然・生活環境 (水、大気など)

- ・水源や上下水道等の適正な管理による水質保全など、健全な水の循環を維持します。
- ・公園をはじめ、身近な“みどり”を維持します。

### ② 動植物

- ・イノシシの急増や特定外来生物の移入などによる自然や生態系への悪影響を防止し、本市固有の在来種を守ります。

## (2) ふれる

**目 標**  
自然の中や近所の公園に出かけたり、植物を育てたり、動物を飼ったりするなど、自然や命にふれあいます。  
自然とのふれあいの中で、やすらぎや感動を得て、自然と共に生きていることを実感し、その輪を地域に、将来に伝えます。

**成果指標**

#### ○○○○○・件数

現状値  
・ ・ 件

将来目標値  
・ ・ 件

### ① ふれる

- ・家や学校で植物を育てることや、動物を飼うこと、自然体験や農業体験に参加することなど、自然にふれる機会に積極的に参加します。
- ・自然に関わる人材を育成し、ふれあいの機会を拡大します。

### ② 伝える

- ・いわきの自然や季節の移ろいを写真や絵、文章で伝える機会や場が増えていき、自然や自然の恵みにふれあい、伝え合う輪が広がっていきます。

## (3) つなぐ

**目 標**  
森～里～川～海の自然の循環のつながりが、人と自然、都市部と自然（中山間）をつなぎます。

**成果指標**

#### ○○○○○・件数

現状値  
・ ・ 件

将来目標値  
・ ・ 件

### ① つなぐ

- ・森～里～川～海のつながり。それぞれの自然を適切に管理し、つながりを守ることで、恵みが享受でき、自然からの脅威も防げます。

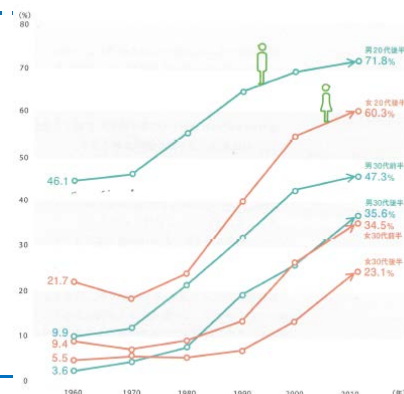
### ② 支える・参加する

- ・いわき全体で自然を支えるには…。エコな活動に参加する、募金に協力する、いわきのものを選ぶなど、できることはたくさんあります。

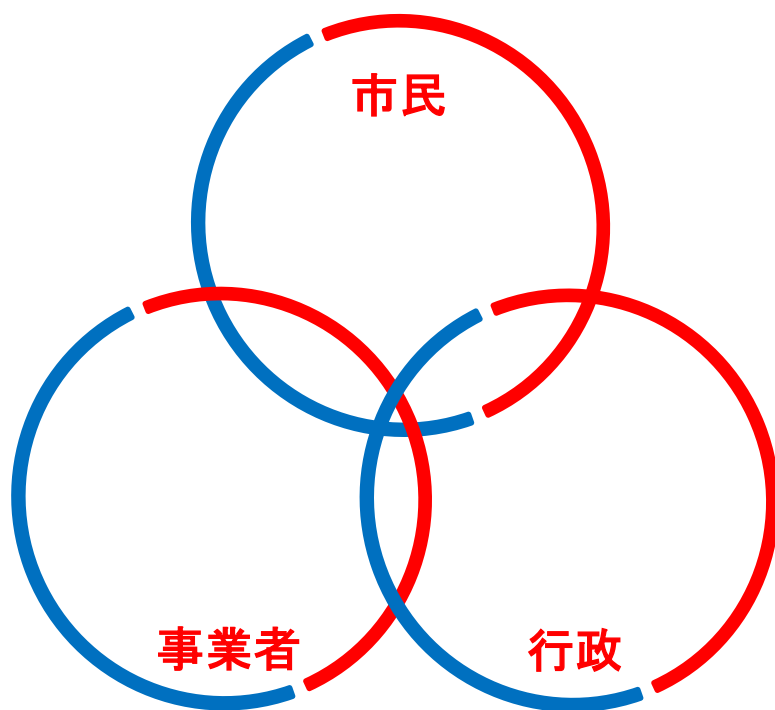
方針

- ・ 性別や年齢、国籍に限らず、考え方や暮らし方の違いなど、わたしたちの周りには多様な個があります。たくさんの「多様な個」が、それぞれにバラバラなのではなく、理解し合ってつながり、共に生きていくことが必要です。
- ・ 人と人がつながり、理解し合うところから始まるのが結婚です。そんなつながりの第一歩を応援します。

【現状・課題など】



それぞれの取り組み



関連する個別計画

● 構成する主な取組み

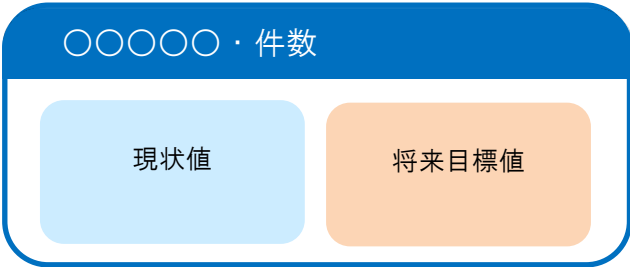
(1) 認めあい、理解しあう

目標

人は、他人とのつながりの中で生きています。

年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、それぞれの個性や違いを認めあい、お互いに理解しあう社会を目指します。

成果指標



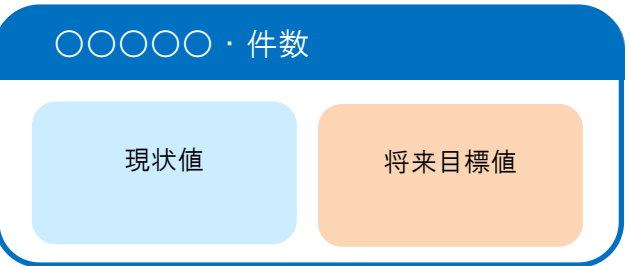
- ① 顔と名前ですつながる。
  - ・「あの人と自分は違う」、「年寄り は…」、「最近の若者は…」、「男 って…」、「女なのに…」、「外国 人は…」、「障がい者は…」など、 自分から一方的に線を引いてはいない でしょうか。何らかの違いで線を 引いてしまうのではなく、顔と名前 の分かる個人としてつながります。
  - ・自分以外の誰かが理解していればい いものではなく、頭で分かればいい のでもなく、実際に知り合い、理解 し合い、つながっていきましょう。

(2) 共に生きるために（共に生きる仕組み）

目標

個人の権利を守ることや、あらゆる障がいを取り除くことで、誰もが平等に社会に参加でき、暮らしやすい環境をつくりま す。

成果指標



- ① 権利擁護
  - ・権利侵害（虐待）から守ります。
  - ・自分の権利がきちんと行使できる仕 組みや体制を整えます。
- ② 届く・届ける
  - ・情報（音声・文字）や言語、段差な ど、生きていくうえで障がいとなる あらゆるものを取り除きます。

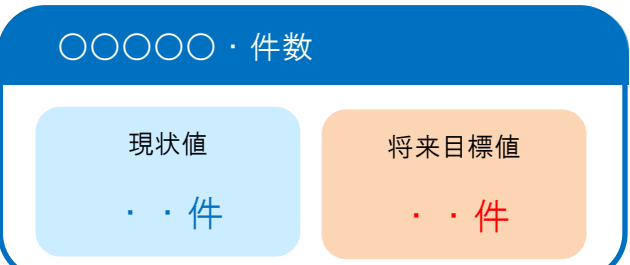
(3) 結婚

目標

人と人が、理解しあい、つながり、共に生 きていく。その一つに、結婚があります。

特に、若い人たちが、出会い、知り合える 「いわき」になるよう、大人たちから少しお 節介させてください。

成果指標



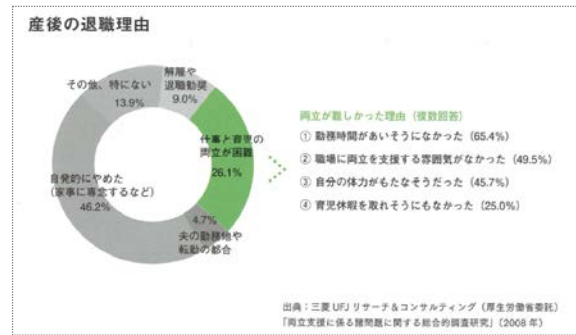
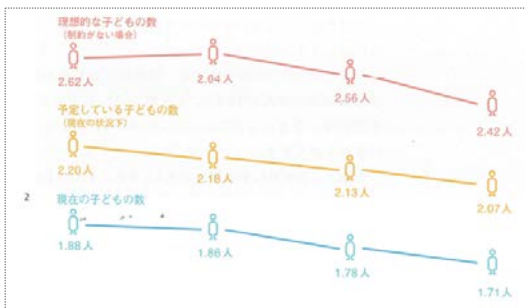
- ① 結婚のイメージを変える
  - ・結婚に対して「自由がなくなる」、 「結婚生活は忍耐・我慢」などマイ ナスイメージを持つ方が増えていま す。結婚生活を楽しんでいる先輩諸 氏が、そのイメージを払しょくする メッセージを発信してください。
- ② 出会いの場・機会
  - ・単に男女の出会いの場を提供するとい うことではなく、例えば、趣味や ボランティア活動などをしながら、 自然に出会える、知り合えるような 場や機会をつくりま す。



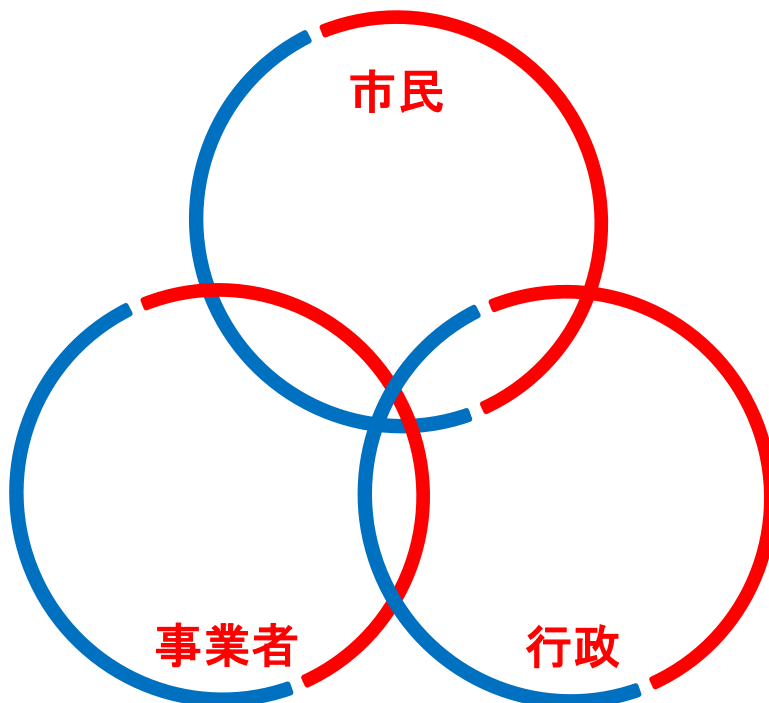
方針

- ・夫婦が希望する数の子どもを、「安心して」「ムリなく」産み育てられる「いわき」を目指します。一人目を産み育てることはもちろんですが、一人目を育てながら、二人目・三人目を産み育てる場合にも、「安心して」「ムリなく」です。
- ・仕事と子育ての両立や、出産・産後の心と体のケアだけではなく、周囲の理解と協力が得られる社会を目指します。

【現状・課題など】



それぞれの取り組み



関連する個別計画

市 子育て支援計画



# 項目

こどもみらい部

商工観光部

## ● 構成する主な取組み

### (1) いわきで産む（妊娠～出産～産後）

- 目標**
- 希望する数の子どもを、安心して、ムリなく「産める」が目標です。
  - 女性が母親になる前に、妊娠～出産に関する知識や教育を提供します。
  - 妊娠・出産の場をきちんと確保するとともに、心配なことを相談できる環境・体制も整えます。
  - 心も体も休める産後ケアの環境を整えます。

**成果指標**



#### ① 子どもを産むということ

- これまでの性教育だけではなく、妊娠～出産に関する知識と教育を、ステージに合わせて、継続的に展開します。

#### ② 妊娠～出産

- 先輩パパママの話や聞くなど、妊娠～出産～育児まで、切れ目なく相談できる体制を整えます。
- 出産に関する様々な情報をお届けします。
- 妊婦健康診査を受けましょう。
- 医師の確保など、出産できる環境を整えます。

#### ③ 産後

- 身内や隣近所も含め、社会全体が、子どもを産む女性を思いやり、応援します。
- 産後の体調がすぐれない方が、体も心も安心して休める産後ケアの体制を整えます。

### (2) いわきで育てる（育児・子育て）

- 目標**
- 希望する数の子どもを、安心して、ムリなく「育てる」が目標です。
  - 小児科など乳幼児の医療の確保に努めるとともに、育児に関する心配事を相談できる環境・体制を整えます。
  - 就労や産休に左右されない、保育環境を整えます。
  - 育児と仕事の両立をやすくします。

**成果指標**



#### ① 安心して

- 妊娠～出産～育児まで、切れ目なく相談できる体制を整えます。
- 子育てに関する様々な情報をお届けします。
- 乳幼児健診、予防接種をしっかりと受けましょう。

#### ② ムリなく

- パパが、親が、近所が、社会全体が子育てママを思いやり、応援します。
- 幼児期における幼稚園、保育所、認定こども園、放課後児童クラブの整備を進めます。
- 就労や産休に左右されずに、育児と仕事とを両立しやすい環境を目指します。

## 方針

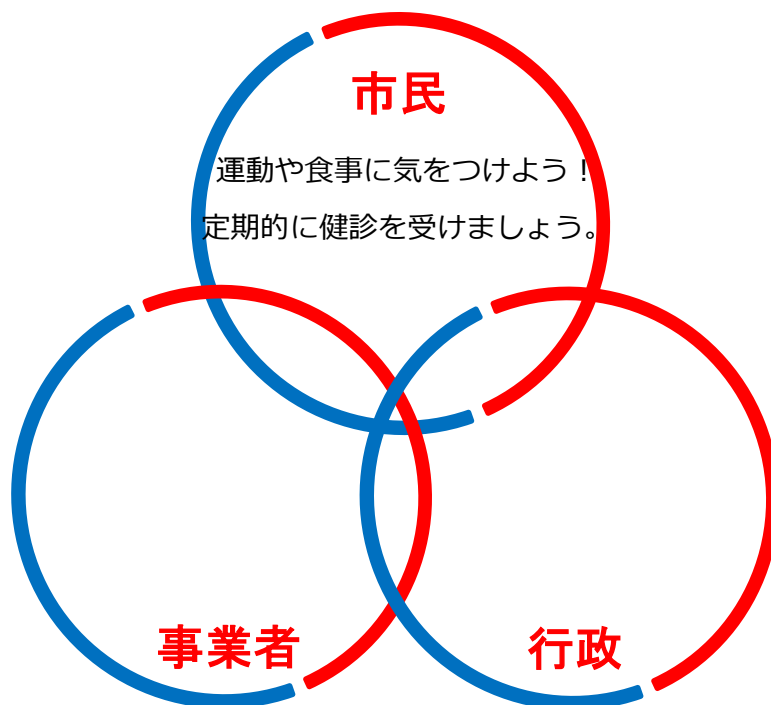
- ・平成22年の国の調査では、平均寿命と健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）との間に、男女共に約10歳の差があります。
- ・人生の最後まで、元気に健康で楽しく毎日が送れるよう、健康寿命を伸ばします。
- ・万が一の病気やケガの際に備えて、しっかりとしたいわきの医療を確保するため、医師や看護師などの医療従事者を増やします。

## 【現状・課題など】

- ・平均寿命が男女ともに、全国平均や県内平均よりも短い状況です。
- ・人口10万人当たりの医師数が、全国平均や県内平均と比べても少ない状況です。
- ・また、医師の高齢化も進んでいます。

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



健康いわき21プラン

● 構成する主な取組み

(1) 健康

目

健康寿命を伸ばし、心身ともに健康で、いきいきと生活ができる「いわき」を目指します。

標

健康のための生活習慣を身につけるとともに、定期的に健康診査や各種検診を受けましょう。

成果指標

健康寿命

現状値

男性：〇〇歳

女性：〇〇歳

将来目標値

男性：〇〇歳

女性：〇〇歳

① 生活習慣

- ・適度な運動と規則正しいバランスのとれた食事、禁煙など、健康を保つ生活習慣を身につけます。

例) 適度な運動を1日30分

1日3食+低塩+いわき野菜

② 健診・検診

- ・定期的に健康診断を受け、自分の健康状態を把握します。
- ・各種がん検診等を受け、病気の早期発見・早期治療につなげます。

(2) 医師確保

目

医師及び看護師の絶対数を増やします。若い医師の確保により、いわきの医師の平均年齢を下げ、バランスの良い構成を目指します。

標

より不足が深刻な診療科目や地域の優先・重点化も検討します。

成果指標

医師数

現状値

・・・人

将来目標値

・・・人

① 医師の確保

- ・これまでの医師確保の取組みをベースに、更なる取組みを展開します。
- ・これまでの取組内容や方法も、より効果的になるように見直します。
- ・若い医師や医学部生への働きかけに力を入れます。例えば、医師になる前から、もっと、いわきに来てもらい、いわきを感じてもらおうような仕掛けを展開します。

(3) 医療提供体制

目標

新たな市立病院を整備するとともに、休日夜間急病診療所を整備します。

成果指標

〇〇〇

現状値

将来目標値

① 市立病院・休日夜間診療所

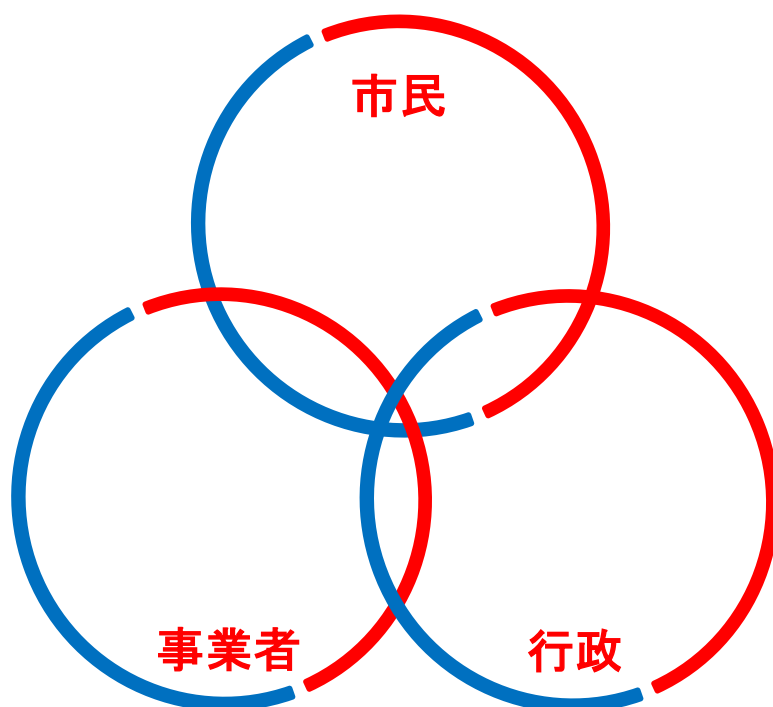
- ・新病院が完成しオープンします。休日夜間診療所も新しくなります。
- ・医療体制の充実により、安心が高まるとともに、新病院を医師の確保にもつなげます。

## 方針

- ・住み慣れた地域で暮らしたいと思う人が、誰でも、住み慣れた地域で暮らし続けられるいわきを目指します。
- ・誰もが、お互いを理解して、尊重しあうことができるまちの実現を目指します。
- ・そのための、仕組みづくり・人づくり・環境づくりに取組みます。

【現状・課題など】

## それぞれの取り組み



## 関連する個別計画

高齢者福祉計画

障がい者  
福祉計画

地域福祉計画

● 構成する主な取組み

(1) 理解し尊重しあう

**目標**  
 誰もが、どこでどんなふうに暮らしたいのかという希望や意思を表すことができます。  
 その声に、家族や地域、行政が耳を傾け、実現に向けて協力します。  
 家族や地域など、支える方々のサポートにも取り組みます。



① 高齢者・障がい者

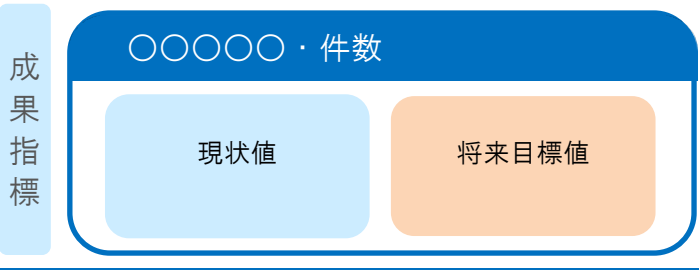
- ・ 高齢者や障がい者は、支援が必要な人ではありません。知識・経験などを地域づくりに活かします。
- ・ リビングノートの導入など、本人が意思を表せる、周囲が本人の意思を確認できる仕組みを整えます。

② 家族・支える方々

- ・ 家族だけでなく、近所の方々、民生児童委員、関係機関などの連携により対応します。
- ・ 介護する方の支援も必要です。介護する方が疲弊しないよう、たまの息抜きができる仕組みを構築します。

(2) 助け合う

**目標**  
 日々の暮らしの中で、支援が必要な方はたくさんいます。  
 特別なことではない、自分ができることで助け合えるまちを目指します。



① 高齢者ボランティアポイント制度

- ・ 身近なところで、出来ることやしたいことで、誰かの役に立ち、感謝されること。相手も自分も喜べる仕組みを構築します。

② ご近所の力

- ・ 地域の高齢者や妊婦、小さいお子さんのいる方がゴミ出し、買い物の時など、ちょっとしたお手伝いをしてみませんか。いつものあいさつや声かけから、もう半歩前に…。

(3) 仕組みをつくる

**目標**  
 自宅や住み慣れた地域で暮らすために、本人も家族も安心できる仕組みを構築します。

**成果指標**

○○○○○ ・ 件数

現状値

将来目標値

① 医療と介護の連携

- ・ 地域ごとに、診療所・薬局・介護事業所・病院などが一堂に会するネットワークをつくり、顔の見える関係の中で、医療と介護の連携を強めます。
- ・ 在宅医療、介護の連携・機能強化を図ります。

## 方針

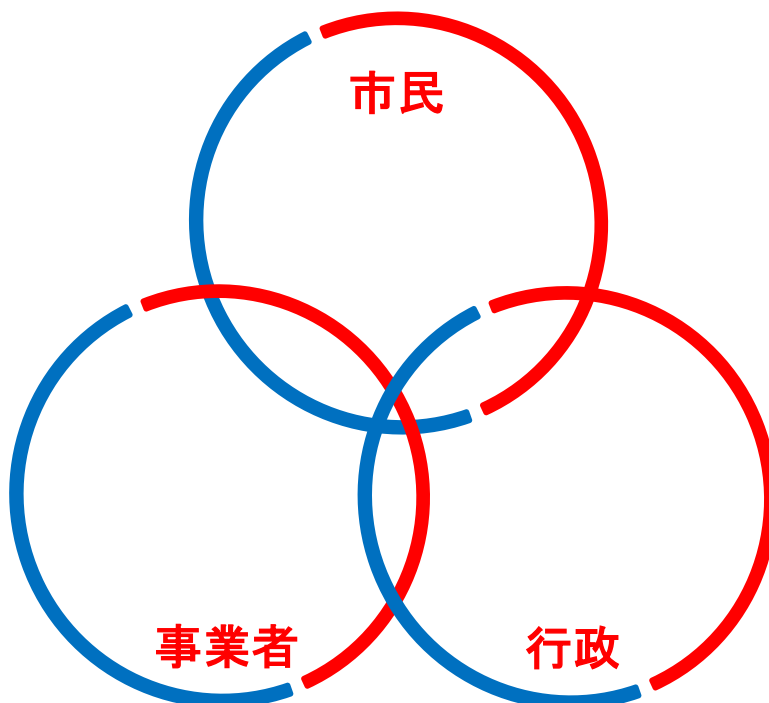
- ・ 毎日の暮らしの中の安全を高め、安心を増やします。一人ひとりが気をつけること、地域ぐるみで気をつけることで、困ったことが起こらないよう、未然に防ぎます。また、万が一、起きてしまった場合でも対応できる体制を整えます。
- ・ 社会保障におけるセーフティネットを構築するとともに、貧困が世代を超えて連鎖しない社会を目指します。
- ・ 安心だから、働ける、学べる、チャレンジできる。安全・安心が、わたしたちの生活の大きな基礎です。

## 【現状・課題など】

- ・ これから生まれてくる子どもたちへの取組みや支援だけに偏ることなく、今、現にいる子どもや若者を誰一人置き去りにしない、誰かとつながっている、誰かの役に立っていると思える取組みや視点を、今まで以上に進めていく必要がある。

## それぞれの取組み

## 関連する個別計画



消費者教育推進計画

項目

市民協働部

消防本部

保健福祉部

こどもみらい部

● 構成する主な取組み

(1) 日々の暮らしの安全

目  
標

誰もが、日々の暮らしが平穏であってほしいと願っています。

まずは、一人ひとりが意識し、気をつけること。そして、地域ぐるみで意識し、気をつけることが大切です。

未然に防ぐための環境や仕組みも整えつつ、万が一、何か起きたときには、しっかりとした体制で対応します。

特に力を入れていくのは、子どもたちの登下校、高齢者の消費生活トラブル、消防団の維持の取組みです。

成  
果  
指  
標

○○○○○ ・ 件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

① 防犯・交通安全

- ・ 地域における防犯パトロールの取組みを拡げます。
- ・ 歩行者や自転車の交通の安全を確保します。
- ・ 特に、子どもたちの通学における安全対策として、ハード面では通学路（歩道）における危険個所の解消、ソフト面では見守り活動や交通安全教室などを行います。

② 消費生活

- ・ 基礎的な知識を身に付ける取組みを大事にします。
- ・ 消費生活相談センターをはじめとする相談先を確保します。
- ・ 未然防止のための情報提供や行政、警察、金融機関を中心とした連携体制を構築します。

③ 消防・救急

- ・ 消防団による地域防災力を維持します。
- ・ 消防力、救急救命力のより一層の強化を図ります。

(2) 社会保障

目  
標

全ての市民が、健康で文化的な最低限度の生活を送れるためのセーフティネットが必要です。

自立し、安定した暮らしができるよう、支え合います。

子どもの貧困対策をはじめ、貧困の連鎖を止めるとともに、誰一人、社会的に孤立しない「いわき」を目指します。

成  
果  
指  
標

○○○○○ ・ 件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

① 生活困窮対策・生活保護

- ・ 本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立だけでなく、生活全般の自立を目指します。
- ・ 多様で複合的な課題をワンストップで受け止め、連携して対応します。

② 貧困の連鎖を止める

- ・ ひとり親家庭の経済的支援と就労支援に取り組みます。
- ・ 高等教育の機会の確保や支援など、家庭の経済状況で教育が左右されないようにします。
- ・ 居場所づくりや他者との関わりなどを関係機関、学校、NPO、地域などの連携により取り組みます。

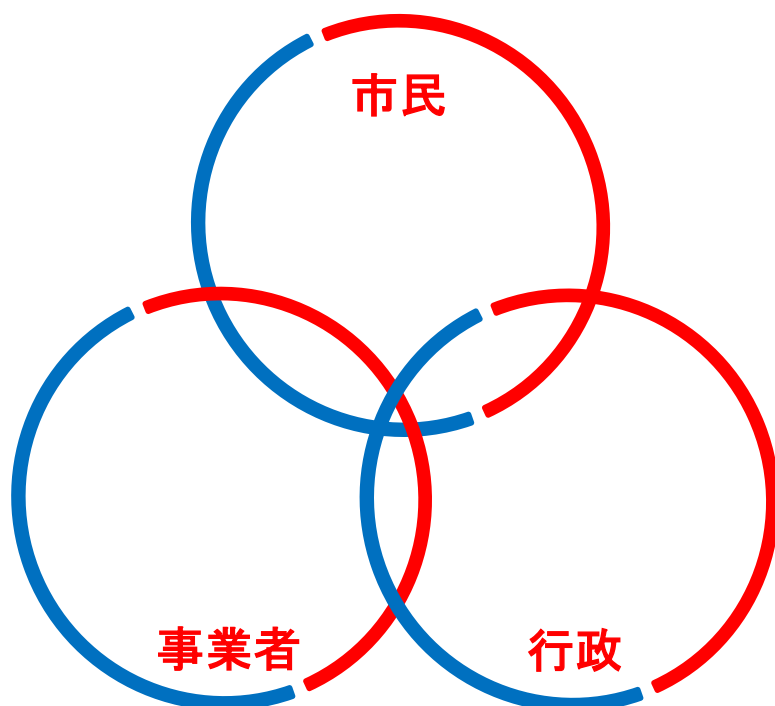
## 方針

- ・安全安心も、住みやすいまちづくりも、これからのいわきも、すべては“人のため”であり、すべては“人による”ものです。地域が人を育み、人が地域をつくります。
- ・生きる力、ベースとなる基礎学力、世界に飛び出す気持ちと根っことしてのいわきへの誇りと愛着を持ってほしい。子どもたちの成長段階でも、家庭・学校・地域の連携でも、切れ目なく、子どもたちを愛し、育てていく。いわきで生まれたからではなく、いわきが育てるから、メイド・イン・イワキのいわきっ子。将来を担う人“財”を育てます。
- ・そして、子どもたちと一緒に、親も、地域も、学びあい、成長します。

【現状・課題など】

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



未来をつくる  
いわきの学校教育  
ABCプラン

市 子ども・子育て  
支援事業計画



# 項目

こどもみらい部

教育委員会

## ● 構成する主な取組み

### (1) 幼稚園・保育所

**目 標**  
教育のはじまりであり、大切な基礎づくりの時期です。希望する全ての幼児へ教育・保育を提供します。

**目 標**  
子育てに不安はつきものです。言葉の遅れなど心配事に対する相談と支援の体制を整え、安心して子育てできる環境を整えます。

成果指標

(3~5歳児 or 5歳児)の未就園児割

現状値

将来目標値

#### ① 教育・保育環境

- ・希望する全ての方が幼稚園・保育所・認定こども園を利用できるよう、地区ごとに適正に配置します。
- ・幼稚園教諭や保育士をはじめ、幼児教育に関わる人の数を増やし、質も高めます。

#### ② 相談と支援

- ・子育てコンシェルジュのワンストップ型相談体制のほか、言葉の遅れなど発育に関する心配事の相談と支援の体制を今まで以上に充実します。

### (2) 小・中学校

**目 標**  
身に付けてもらいたいものは、知・徳・体のバランスと基礎学力、生きる力、未来や世界へ飛び出す勇気とふるさといわきを愛する心（グローバル+ローカル=グローバル）です。

成果指標

○○○○○・件数

現状値

将来目標値

#### ① 基礎学力

- ・読書の習慣と環境を整えます。
- ・学習のつまづき対策に取り組みます。
- ・教師の教育力を高めます。
- ・放課後や土日の過ごし方に、学校・家庭・地域が連携して取り組む環境を整えます。

#### ② 生きる力とグローバル

- ・エリムの経済教育や防災サマーキャンプなどを通して、生きる力を育みます。
- ・いわき志塾や生徒会長サミットなどでグローバルな力を育てます。

### (3) 高校・大学など

**目 標**  
進学や就職を目前にした人生の大事な時期です。社会や世界に飛び出す自信と勇気を育み、グローバルな人材を育成します。

成果指標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

#### ① 生きる力とグローバル

- ・高校生版のいわき志塾やキャリア教育を導入し、生きる力を育み、社会や世界に飛び出す自信と勇気を育てます。
- ・ふるさといわきを、もっと知ってもらいます。

#### ② あきらめない

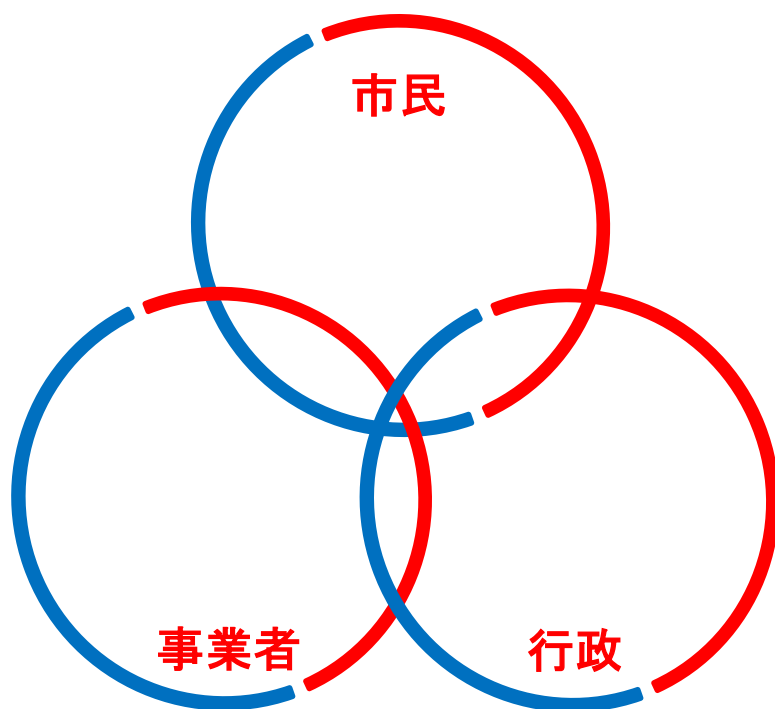
- ・条件付き「給付型奨学金」の創設により、家庭の経済状況で進学する機会が奪われない“いわき”を目指します。

## 方針

- ・スポーツは、楽しいだけではなく、健康を維持したり、人と人とのつながりを深めたり、地域の一体感が醸成されたりと、いいことづくめ。自分が“する”だけでなく、“応援する”ことも含めて、もっと身近にスポーツが楽しめる“いわき”を目指します。
- ・何かを知りたい、学びたい、やってみたいと思ったときに、機会や場所があり、学んだことを誰かに役立てられる、つながりが集まる“いわき”を目指します。

【現状・課題など】

## それぞれの取り組み



## 関連する個別計画

スポーツ振興  
基本計画

生涯学習基本構想・  
推進計画

# 項目

教育委員会

商工観光部

## ● 構成する主な取組み

### (1) スポーツ

目  
標

やりたいスポーツを(多種目)、子どもからお年寄りまで(多世代)、家族や仲間と一緒に、目的に合わせて(多志向)、生涯にわたって楽しむことができる環境を整えます。

テレビで観るだけでは味わえない、トップアスリートのプレイが目の前で体感できることから生まれる感動と一体感。そして、会場に足を運び、応援するだけでなく、ときには参加し、支えることも大切です。

参加する、楽しむ、応援するための環境とネットワークを整え、スポーツで人と人をつなぎ、いわきを元気にします。

成  
果  
指  
標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

#### ① 参加する・楽しむ

- ・ 総合型地域スポーツクラブを増やします。
- ・ 地域の体育祭、運動会をはじめ、身近な地域で、気軽に参加できる、機会やイベントを増やします。
- ・ いわきサンシャインマラソンなど、多くの方が参加できるスポーツイベントを展開します。

#### ② 応援する

- ・ 気になるスポーツを見に行く。
- ・ 頑張っている選手やチームを応援する。
- ・ ちょっとしたお手伝い、ボランティアなどで支える。

#### ③ 環境とネットワークを整える

- ・ 活動内容、メンバー募集、イベント情報など、市内のあらゆるスポーツに関する総合サイトを構築し、施設、ジャンル、プロ・アマ、合宿など、あらゆる資源を組み合わせ、市内外の人と人をつなぎます。

### (2) 生涯学習

目  
標

知りたい、学びたいと思った人が、思った時に、思ったことを学べる「いわき」を目指します。

公民館や図書館、生涯学習プラザが、世代を超えて人々が集い、学びあい、つながりやエネルギーが生まれる、地域やコミュニティの核となります。

成  
果  
指  
標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

#### ① 学んだことを活かす、役立てる

- ・ 自分だけが知っているのはもったいない。学んだことを発表したり、別の誰かに教えたり、知っていることを活かして、役立てましょう。

#### ② 人と人、つながりが集まる場

- ・ 教え、教えられ、学びあい、高めあう、場と雰囲気大切です。
- ・ 単なるハードとしての施設ではなく、人々が集い、つながりが生まれる。そんな場所を、一緒につくっていきませんか。

## 方針

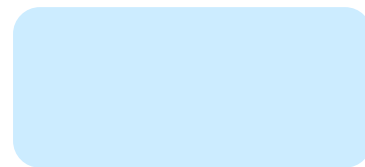
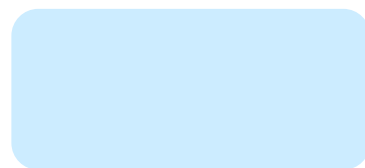
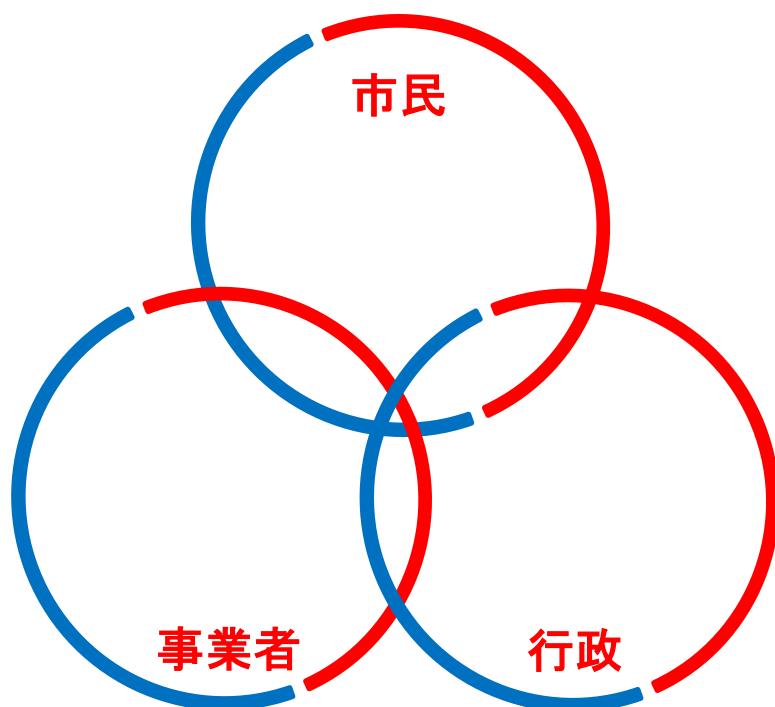
- ・ いわきの歴史と伝統を知る。身近なところからはじめてみませんか。
- ・ 自分が暮らす地域のお祭りや踊り、行事を、改めて見つめ直し、話を聞いてみたり、体験してみたりする。そんな地域ごとの身近な歴史と伝統に触れてみるのが、「いわき」を知るということです。
- ・ 文化の原点は、良き伝統を受け継ぎ、絶えず創造し続けること。伝統と革新の調和が、未来に引継がれる「いわき」の文化になり、それを創り育てるのは、今のわたしたちです。

## 【現状・課題など】

- ・ いわきが、いわきをよく知らない。
- ・ 世代を超えて、時代が変わっても伝え続ける“仕組み”がない。

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



● 構成する主な取組み

(1) 歴史・伝統を学び、伝える

目標

自分たちのルーツを知る。何世代にもわたる人々の暮らしの上に、今の自分たちの暮らしがあることを学ぶ。そして、知れば知るほど、いわきが好きになっていく。

机の上だけで学ぶのではなく、行って、見て、会って、話して、体験してみることが大事です。

そんな仕組みを、家庭や地域・学校が一丸となって、親から子へ、子から孫へ、時代や個々の家庭環境に流されず、地域として引き継いでいきます。

成果指標



① 学び伝えるプログラム

- ア) 紙芝居プロジェクト
  - ・ 地域ごとの風習、言い伝え、偉人などを紙芝居にして、幼稚園、保育所、小学校などで伝えていきます。
- イ) いわき学検定
  - ・ 知れば知るほど、好きになる。多くの人が受けたくなる、いわき学検定をつくります。
- ウ) 学校の力・プロジェクト
  - ・ 歴史や伝統、文化、なりわいなどを、見て、聞いて、行って、体験できるプログラムを、小中学生や先生が授業として活用できるようにします。
- エ) スタンプラリー
  - ・ 文化施設等を巡り、楽しみながら学べるスタンプラリーを展開します。
- オ) スキマチイワキ
  - ・ 市内のあちこちにでかけ、出会った方々と交流し、いろんなことを教えていただいたり、話しあったりして、地域とアートを考えるプロジェクトを展開します。

(2) 文化・芸術にふれる、創る

目標

言葉で表現できるものもあれば、できないものもあります。だから、ふれる。それは、作品だけではありません。それをつくった人やその情熱にも、ふれる。

そして、自分も何かをつくってみたい、表現したいと思った人がトライできて、周りの人もそれを楽しみ、応援するというスタイルが、いわきの文化になることを目指します。

成果指標



① ふれる

- ・ 機会や関心がない方にこそ、触れてもらいたい。美術館やアリオスを飛び出して、届ける機会を増やします。
- ・ 楽しみながら何かをつくっている人、見たり楽しむのが好きな人、プロの人、アマの人、市内の人、市外の人。出会いの場と機会をつくります。

② (一緒に)つくる、楽しむ

- ・ 表現したい人が表現できて、それを楽しみ、応援できる出会いの場やイベントを、多くの人々が協働で作り上げる仕組みを構築します。

## 分野

## 1 住まい・住み良さ

## 方針

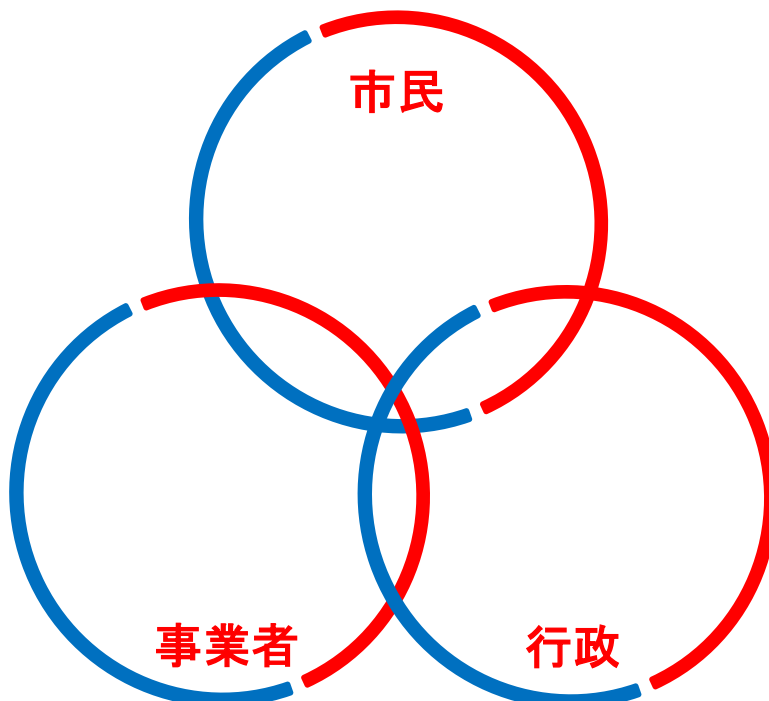
- ・人口動向をみると、現在のいわきは、他の地域とは少し事情が違って  
います。原発事故の影響で、いわきを離れた方々もいれば、いわきに  
来られた方々もいます。これが、一時的なものなのか、もうしばらく  
続くのかは、予測することが困難です。
- ・一方、長い眼で見ると、国全体に言えることですが、人口は減り続け  
ると予測されます。
- ・この2つの事象に挟まれながらも、暮らしの基礎となる「住まい」と  
「住みよさ」について、わたしたちなりの道（いわきライフ）を目指  
しませんか？ キーワードは、「今あるモノを賢く使う」です。

## 【現状・課題など】

- ・土地がない、または土地の価格が高騰していて、家を建てたい人、特に若い世代が  
家を建てられない状況にあります。
- ・一方、人口の減少が予想され、今後、空き家が増えていくことも予想されます。

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画



住宅マスタープラン

総合土地利用  
基本計画市街化調整区域に  
おける地区計画制度

# 項目

土木部

都市建設部

## ● 構成する主な取組み

### (1) もっと住みやすく

目  
標

若いとき、誰かと一緒に暮らすとき、子どもを産み育てるとき、子どもたちが自立したときなど、ライフステージに応じて、住まいと暮らし方を替える、新しいライフスタイルと仕組みを提案し、住み替えてもいいなと思える社会を目指します。

自分たちの好みや状態に合わせて、手を加えるリノベーションとリフォーム。住み替えと空き家の活用、今あるモノをみんなで、賢く使えば、住まいと住み良さはもっとよくなるはずです。

成果  
指標



#### ① 住み替え

- ・ライフステージに応じて、住み替えてもいいなと思える社会を目指します。住み替えてもいいなと思える方々が実際に、住み替えるのあたり、何が必要なのか、そして、それらを誰がどう行うべきなのか、調べ、考え、住み替えの仕組みをつくりまます。

#### ② リノベーションとリフォーム

- ・高齢者用、バリアフリー、エコなどのリフォームに対する支援だけではなく、いわき市産材を活用した地産地消や、二世帯・三世帯住宅へのリノベーション・リフォームに対する支援も導入します。

#### ③ 空き家を使う

- ・人口減少に伴い、全国的にも、本市でも空き家が増えていく見込みです。そのままにしておくと、倒壊の恐れがあるほか、犯対上も危険です。今あるモノを上手に使う空き家活用の仕組みを考えます。

### (2) 土地利用

目  
標

将来の人口減少を見据え、人が住むエリアを無秩序に拡げることなく、かつ、喫緊のニーズにはしっかりと応える。官と民が役割分担と協働のもと、対応します。

人口の減少が市内でもより早く進んでいる中山間地域へ、特に若い、子育て世代に住んでいただけるよう取組みます。

成果  
指標



#### ① 土地利用・宅地を生み出す

##### ア) 地区計画の見直し

- ・大規模なインフラ整備を要しない、現在の住宅地に隣接する市街化調整区域の宅地化を図ります。

##### イ) 市営住宅の借地の返還

- ・市街地で、借地で、かつ、老朽化や休止の多い市営住宅については、市営住宅の廃止し借地の返還を進め、民間による活用につなげます。

#### ② 中山間地域への対応

- ・中山間地域の人口減少に対応するため、例えば子育てに優しい市営住宅を配置するなどの対応を検討します。



## 方針

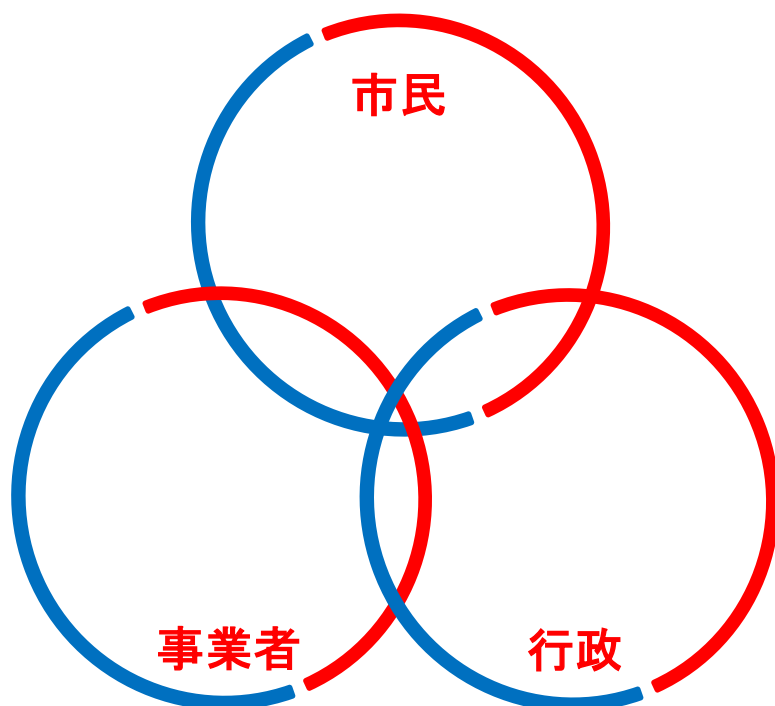
- ・ 地方から都市へ人が出ていき、地方の人口がどんどん減っています。「地方にヒト・モノ・カネの流れを」を掛け声とする地方創生の動きが、全国で展開されています。
- ・ 日本全体で起きていることが、いわき市内の中でも起きている。都市部も中山間地域もあるいわきは、日本の縮図なのかもしれません。いわき全体が元気になるためには、いわきの中山間地域や沿岸域が元気になるなければなりません。
- ・ そして、そんないわきの挑戦が、いわきの元気を産み出し、日本の元気につながります。

## 【現状・課題など】

.

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画






● 構成する主な取組み

(1) 地域の核・拠点をつくる

目  
標

人口の減少傾向は、今すぐには止まりません。中山間地域では、その傾向が顕著です。しかし、中山間地域から市街地へ誘導していくコンパクト化はしません。

みんなあって、みんながいる場所、地域の拠点・核となる場所を一緒につくりましょう。

成  
果  
指  
標



① 複合化・多機能化・集約化

- ・多くの機能が集まっているから、そこに多くの人が集まってくる。例えば、支所や集会所、公民館、小中学校、保育所や児童クラブといった公共施設に、高齢者の介護施設や産直販売所、食堂が一カ所に集まっていれば、世代を超えて、お年寄りから子どもたちまで、人が自然に集まってきます。そんな地域の拠点を、それぞれの地域ごとに、つくります。
- ・統廃合に伴う廃校など、既にあるモノを活用します。

(2) 域内循環で地域の収支を良くする

目  
標

地域の中に入ってくるお金と、地域の外へ出ていくお金、その差が地域の収支になります。

入ってくる方が大きければ、黒字、逆に出ていく方が大きければ、赤字です。

お金の流れは、人の流れにつながります。地域の収支を黒字にする、赤字を減らすことができれば、人が来る、増える、出ていくのを減らせることになります。

それぞれの地域ごとに、入りを増やして、出を抑える取組みをみんなで考えて、やってみましょう。

成  
果  
指  
標



① 入りを増やす

- ・自分たちがやれることはないですか。例えば、毎日のスクールバス。地域の皆さんが運転・運行し、その分の費用をお支払いします。
- ・他の自治体の例では、地域内の水道の検針や公民館の管理などを、地域が請け負っている事例もあります。

② 出を抑える

- ・エネルギーなどの地産地消を進めること。例えば、電気や灯油など、域外から買っているものを、自分たちの身近なモノに置き換えると、お金の流れが外ではなく、地域内に向かいます。

③ 賑わいを産み出す

- ・廃校は貴重な資源です。利活用方法を検討します。
- ・地域振興担当員、集落支援員、地域おこし協力隊が、一丸となって、地域の方々と一緒に、地域に賑わいを呼び寄せます。

## 方針

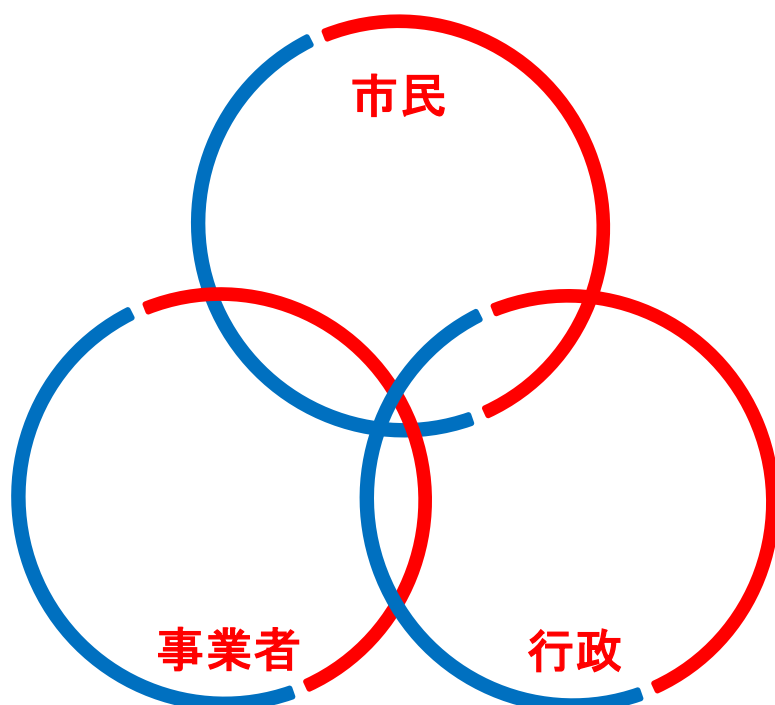
- ・「まち」とは、空間であり、場であり、舞台となるものです。それは、そこに暮らす人々の日々の暮らしの積み重ねによってつくられてきたものです。
- ・これまでもそうであったように、まちをつくっていくのは、そこに暮らすわたしたち自身です。住む、働く、学ぶ、楽しむといった、必要な機能があり、そこでの出会い・集まりを通じて、自分らしい生き方を実現できる「まち」を目指していきます。

## 【現状・課題など】

.

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画




● 構成する主な取組み

(1) 日々の暮らしの中のまち

目  
標

自分たちの暮らす「まち」をどうしていくのかを考え、それを決めるのは、そこに暮らす方々が中心です。そして、市役所や地元企業、NPOの方々など、多くのプレイヤーが応援します。

「まち」の中にも、みんなが集まりやすい、核となる拠点をそれぞれのまちごとに作ります。

成  
果  
指  
標

○○○○○ ・ 件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

① まちづくり

・ 自分たちのまちや日々の暮らしがどうなったら、もっとよくなるのか。みんなで話し合い、行動する仕組みが「地区まちづくり計画」です。

② 核・拠点をつくる

・ 公共施設の集約化（小規模、多機能、複合化）を進めます。  
 ・ 公共施設との併設も含めて、一緒に、いろんなお店やサービスがまとまっていると、使う側は便利です。  
 ・ 共同店舗のようなものがあると、何かを始めたい人もチャレンジしやすくなります。  
 ・ 空き店舗、空き住宅の活用も含めて、地域のニーズに応える仕組みを構築します。

(2) ワクワクするまち

目  
標

ハレの場としての、ワクワクするまち・エリア。いわきを代表するまち・エリア。様々なヒトやモノが集まっているから、様々なヒトやモノに出会い、楽しめる。そんなワクワクするまちやエリアを目指します。

また、ライフステージに応じたの住み替えにおいて、高齢者のまちなか居住を進めます。

自然もあって、まちもあるのが、いわきの魅力。中山間地域が、いわきを元気にしようとして挑戦するのなら、両輪であるまちも挑戦します。

成  
果  
指  
標

○○○○○ ・ 件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

① 中心市街地の活性化

・ 居住性を高めるとともに、交通・通信基盤の整備により利便性を高めること、快適性・娯楽性に優れていることが中心市街地の役割です。

ア) 平地区

・ 中心市街地活性化計画に基づく取組みを、行政、地元商店街、まちづくり会社やNPOが連携して進め、いわきの元気の発信源になります。

イ) 小名浜地区

・ 港、魚市場、アクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウ、臨海工業団地など、一カ所に様々な機能が集中している小名浜。  
 ・ 多様な魅力を楽しむ多くの人々の流れを、まちなかにもへ波及させ、賑わいの輪を拡げていきます。

## 方針

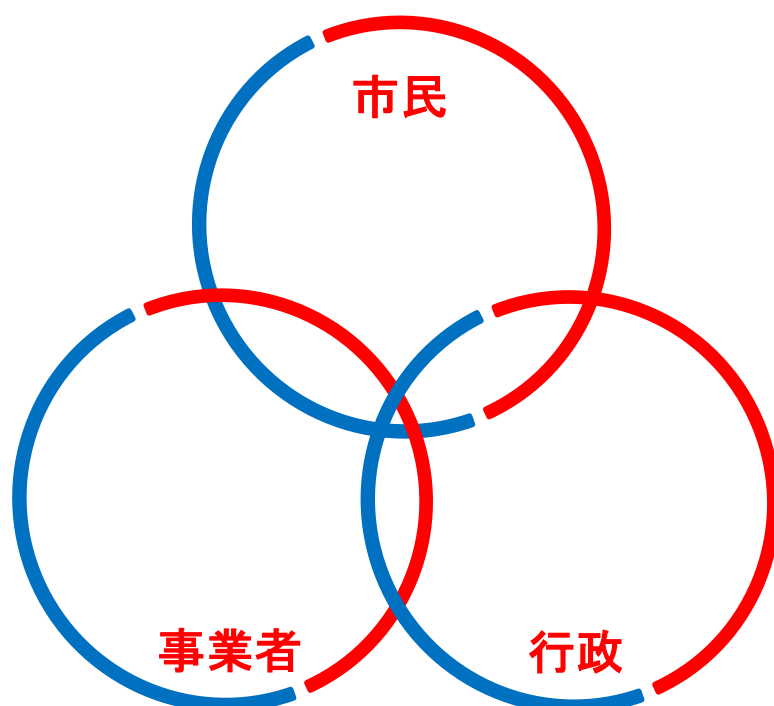
- ・ 仕事は、経済的な目的だけではなく、社会の一員であること、誰かの役に立っていることを感じるという側面もあります。
- ・ 人口減少が進む中であっては、働く人の数も減ることになります。今まで以上に支えあい、一人ひとりが疲労しない社会を目指します。
- ・ 若者が市内に留まること、仮に、一度離れても戻ってくることを目指します。

## 【現状・課題など】

- ・ 18歳での市外流出が多く、その後、戻ってこない傾向が高い。

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画




項目

商工観光部

市民協働部

保健福祉部

● 構成する主な取組み

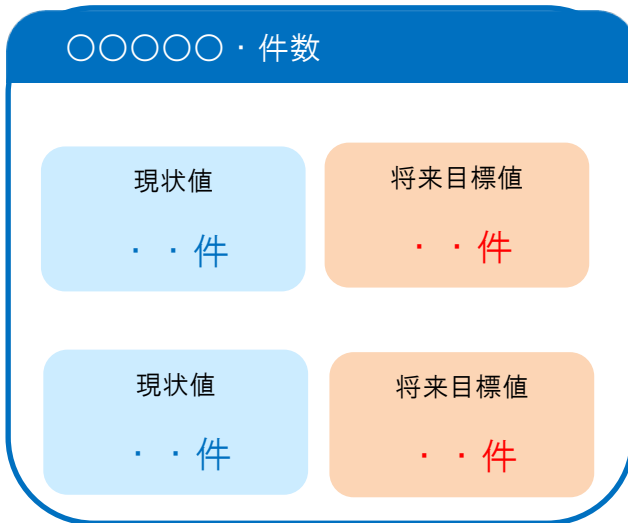
(1) いわきで働く

目標

若者の進学や就職の決断時期は、大きく分けて、「18歳（高校卒業時）」と「22歳（大学卒業時）」です。

それぞれの場面に応じて、いわきで働くことの魅力や、いわきで頑張っている人・企業などを紹介していきます。

成果指標



① “18歳の決断”のその前に

- ・経済教育プログラムの高中生版を実施します。社会のしくみや経済の働きを正しく理解して、自分の意志で進路の選択や将来設計が行える力を育みます。
- ・身近な暮らしの中で活躍している、いわきの会社の製品やサービスを見える化して、伝えます。
- ・これまでの就職相談会だけではなく、進学を希望する子どもたちに、高校在学中に、いわきの企業や企業人を知ってもらう機会を設けます。

② “22歳の決断”に向けて

- ・首都圏を中心に、本市を離れた進学者が多い地域で、市内企業の合同就職相談会を開催します。
- ・市内に就職した場合に、奨学金の返済を一部免除するなど、いわきに戻ってくるきっかけとなるよう、「条件付き給付型奨学金」の制度を設けます。

(2) 自分らしく働く

目標

高齢者も障がい者も子育て中の方も、本人の意志と希望に応じて、自分らしく働ける社会を目指します。

自分一人で全て抱え込むのではなく、願いすることや、任せることを、もっと増やしていく社会や働き方を意識していく必要があります。仕事の内容・働く時間・働き方のダイバーシティ（多様性）を拡げて、市民総活躍社会を目指していきます。

成果指標



① 働きたい方

- ・障がい者の方の支援支援や職業訓練、中間的就労支援などを展開します。

② 雇用する方

- ・表彰制度（いわきアワード）を創設します。高卒者、障がい者を積極的に雇用している企業や、女性が働きやすい環境を整えている企業を表彰することで、それらの取組みを広く知ってもらい、他の企業への拡がりを期待します。
- ・その人に合った働き方があることを意識し、理解します。

## 方針

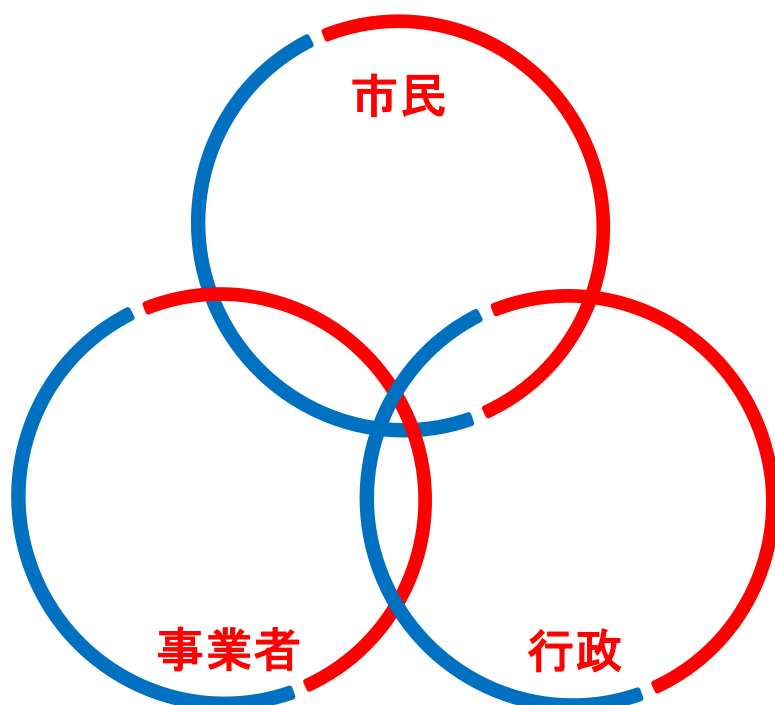
- ・ 全産業共通のこととして、稼ぐ力と経営力を高めます。収入が上がり、コストが下がると、収支がよくなり、経営が安定し、そこに雇用や設備投資が生まれます。
- ・ これまでより以上に、「なりわい」としてやっていけるようになると、新たな担い手、若い成り手も、もっと増えてくるはずです。いわき全体の稼ぐ力と経営力を高めます。

## 【現状・課題など】

.

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画




● 構成する主な取組み

(1) 人材育成

目  
標

企業の稼ぐ力を支えているのは、そこに働いている人の力です。  
新製品・新商品の開発やイノベーション、労働生産性の向上などにより企業の稼ぐ力を高めるため、それを担う人を育てます。

成  
果  
指  
標



① ものづくり、技術

・いわきものづくり塾や職業訓練学校のほか、民間企業の取組みも含め、ものづくりの技術と知識を高めていきます。

② 共同による人材育成

・大企業に比べて、自社のみでは人材育成が難しい中小企業等が集まり、合同中で、人材育成や能力開発の多様な機会を提供できる仕組みを検討します。

(2) いわきでいわきをつくる

目  
標

個々の努力や磨き上げだけでなく、企業、人、資源、商品など、いわきにあるあらゆるものを組み合わせ、新たな価値を生み出します。

成  
果  
指  
標



○ 現時点での組み合わせイメージ

- ・バッテリーバレー構想
  - ・エネルギー × 一次産業
  - ・いわきイタリアン計画
  - ・いわきおぼんざい計画
  - ・いわき版リンカーズ & 暮らしの中のものづくり見える化  
→域内の B to B の促進
- ※上記の取組みに + デザインの力

(3) 創業支援

目  
標

いわきで、新たに創業のチャレンジをする人を応援します。  
事業承継に際し、業務の転換や新たな分野への進出を目指す第二創業を応援します。

成  
果  
指  
標



① 起業家支援地域プラットフォーム

- ・行政、支援機関、金融機関などがそれぞれに実施している創業支援の取組みを整理します。
  - ・各主体の連携を強化しながら、欠けている部分、足りない部分を補い、希望する段階から開始、自立に至るまでの一貫した支援体制を整えます。
  - ・地域企業ファンドを安定、強化します。
- ※起業だけでなく、第二創業もプラットフォームで支援します。

## 方針

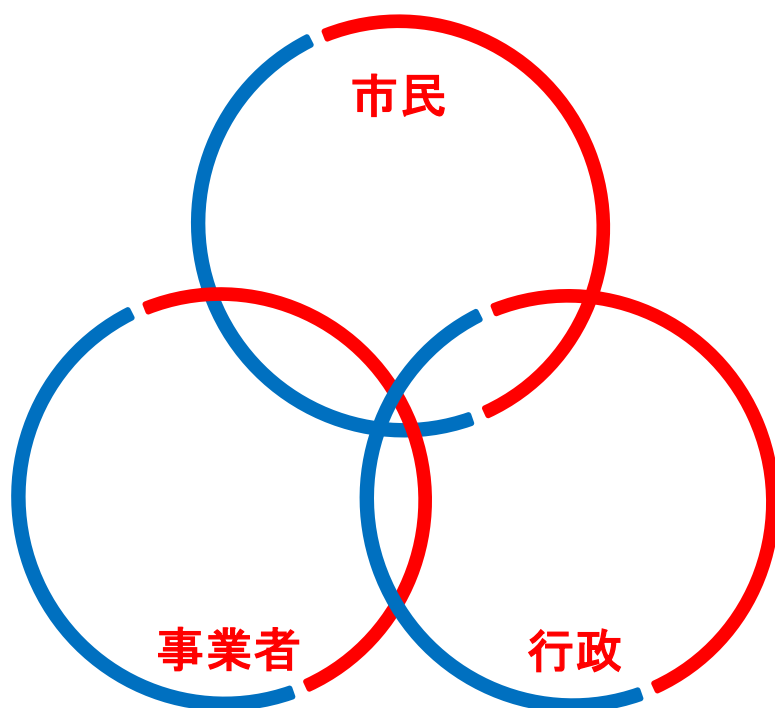
- ・ 温暖な気候に恵まれ、日照時間が長いから、いわきの米、野菜、果物はおいしい。親潮と黒潮が交わる「潮目の海」でとれるから、常磐ものと呼ばれるいわきの魚はおいしい。
- ・ いわきのものを、いわきが今よりももっと食べ、もっと使う。これまでの取組みから、もう一步踏み出して、「攻める」「稼ぐ」農林水産業を目指します。

## 【現状・課題など】

.

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画





# 項目

農林水産部

## ● 構成する主な取組み

### (1) 地産地消（攻める・稼ぐ）

目  
標

いわきの人、いわきでとれるおいしいものを選んで、食べる。そんなまちを目指します。

木でできるものは、木で。それも、いわきの木で。山で育った木が、まちの形成に一役買います。

素材が地産地消なら、それをつくるエネルギーも地産地消。自然にやさしく、農も林も水産も、賢くつくります。

成  
果  
指  
標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

#### ① 食べる

- ・ いわきの人、いわきのモノを食べる。一人ひとりの行動が、いわきの農業・水産を育てます。
- ・ 学校給食に地物を使います。病院や介護施設等でも、今まで以上に地産地消を意識してください。

#### ② つかう

- ・ 公共施設をいわきの木で造ります。
- ・ 家を新築する時、リフォームする時、家具や食器をそろえる時、いわきの木で出来たものを選び、使う取組みを展開します。  
※市産材活用への助成制度など、新たな仕組みを検討します。

#### ③ 賢くつくる

- ・ 使っていなかったもの、捨てていたものを、エネルギーとして使うことで、自然にも、経営にもやさしい仕組みが出来上がります。
- ・ ペレット、木質バイオマス、廃熱、太陽光など、可能性は無限大です。

### (2) 基盤を固める

目  
標

農林水産業は、わたしたちの食を支える大切な基盤となるもの。

持続可能な一次産業を確立するため、資源・人材・経営・環境の基盤を整えます。

しっかりとした基盤のうえに成り立つ「攻め」の姿勢。攻めた稼ぎが基盤の強化にもつながります。

成  
果  
指  
標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

#### ① 資源・生産基盤

- ・ 資源は、使うだけでなく、育てる仕組みを構築します。
- ・ 農道・林道・ほ場を整備するほか、農地バンクによる集積化や、大型機械の導入などにより、生産効率性を高めます。

#### ② 経営・人材

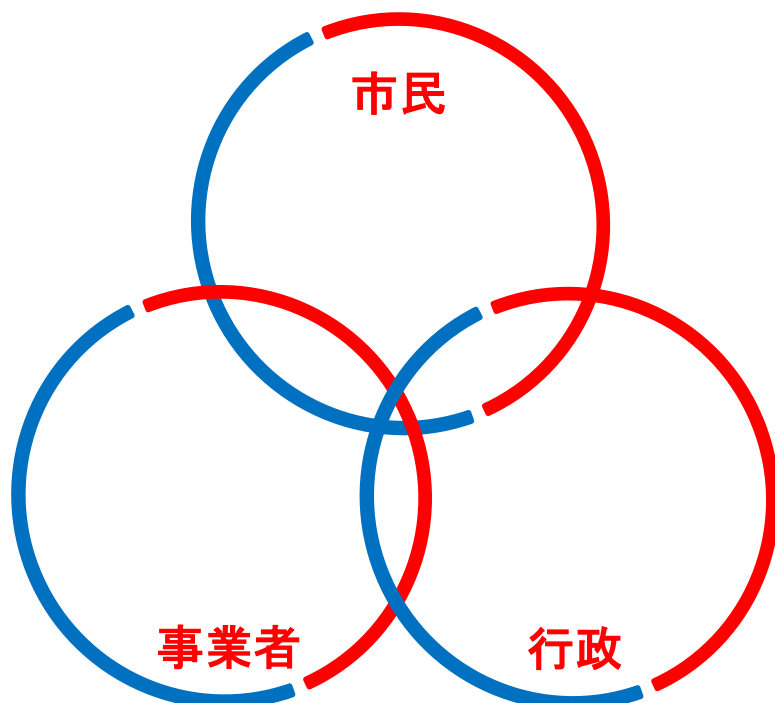
- ・ 販売（消費）量を増やすとともに、循環型エネルギーの活用等によるコスト減に取組み、収支の改善を図ります。
- ・ 技術やノウハウを、次の世代にしっかりと引き継ぎます。
- ・ 実際の姿を見ていただきたい。農林水産業のイメージが変わります。

## 方針

- ・ いわきは、ものづくりのまちです。業種や規模は多種多様ですが、その多様性が、いわきのものづくりの歴史であり、強みでもあります。
- ・ この多様性を活かした連携により、域内循環や産業集積につながる仕組みづくりに取組みます。
- ・ 一番多くの人が働いているのは、商業やサービス業を含めた第三次産業。より良い売り方、より良いサービスで、生産者と消費者をはじめ、人と人を結び付けます。

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画




項目

商工観光部

農林水産部

教育委員会

● 構成する主な取組み

(1) 工業

目標

ものづくりや工業振興の基盤はこれまでどおり、しっかり整えていきます。  
 新たな取組みとして、それぞれの企業の製品開発や営業だけでなく、群として、チームとして、いわきのものづくり企業がもっとつながり、連携する仕組みや体制を検討します。

成果指標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

① ものづくりの基盤

・ 工業団地や物流港湾などのハード基盤と、経営や人材、ネットワークなどのソフト基盤を連携して充実します。

② B to B（域内循環・内発性）

・ 市外に発注しているもので、市内の企業にできるものありませんか？  
 いわき版リンカーズやものづくりの見える化などに取り組みます。

③ 一つの旗のもとに（集積）

・ 企業群、チームとして仕事を受けたり、産業集積の新たな切り口となる旗を掲げたり、様々な企業、人材、

(2) 商業・サービス業

目標

生産者と消費者、人と人をつなぐ橋渡し、お互いがハッピーになるよりよい出会いを、商売の力により生み出します。

成果指標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

① 売り方、見せ方、組み合わせ

・ 組み合わせ方や見せ方、物語性など今だけ、これだけ、ここだけといった売り方を磨きます。

② 商店街、空き店舗、“まちの駅”

・ 空き店舗の活用や共同ショップなど、商店街にもっと人が集まる仕掛けと仕組みを検討します。

(3) 職人・中小企業・地場産業（新陳代謝、引き継ぐ、ゆるやかな寡占、穏やかな退

目標

資金繰り、事業の展開、後継者への事業の承継、事業のたたみ方など、職人や中小企業の困ったの解決を、行政、金融機関をはじめ、みんなで応援します。

成果指標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

① 金融機関を中心としたチームの結成

・ 診断、分析、提案  
 ・ 事業パートナー、後継者のマッチング  
 ・ 資金繰り、融資  
 ・ 事業のたたみ方

② 人材育成、技術の継承

・ ものづくり塾や職業訓練学校のほか、民間企業の取組みも含め、ものづくりの技術と知識を高めていきます。

## 方針

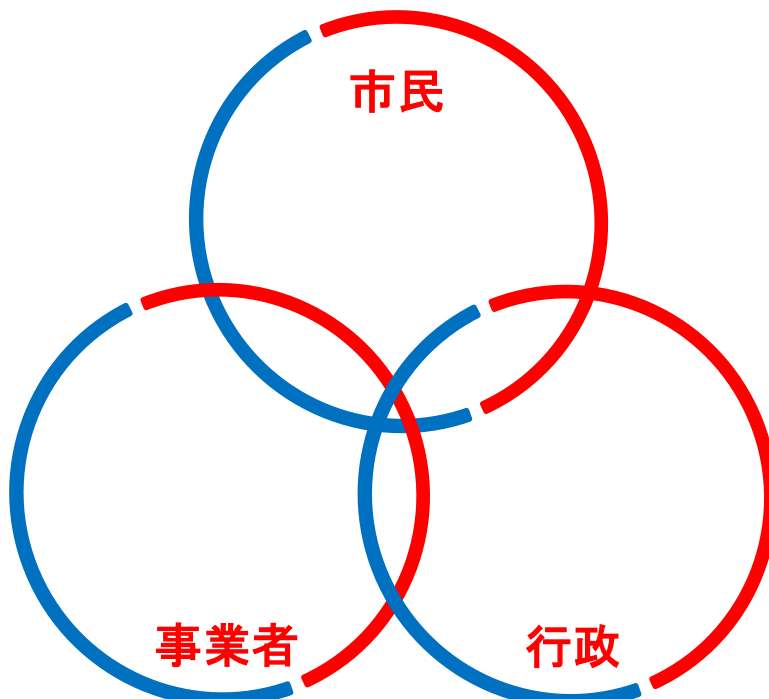
- ・いわきの良さを知ってもらうには、一度来てもらうこと。ハワイアンズと温泉がある湯本、アクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウがある小名浜港周辺。
- ・夏は海水浴、冬でもゴルフが楽しめる。国宝もあれば、震災当時の様子や得られた教訓を聞きに来る方もいる。食べてもらいたい味もある。
- ・多くの魅力や切り口を発信して、一度は、いわきに来てもらう。そして、来てもらった方には、なるべく、多くの魅力を感じてもらう。一粒で何度もおいしい、お得ないわきを目指します。

## 【現状・課題など】

- ・震災の影響、震災後の動きを織り込み、目標をどう立て、そのために、誰が、何を、どのように、誰に向けて取り組むのか、本市の観光の戦略を打ち立てる必要があります。

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画




● 構成する主な取組み

(1) 戦略を立てる

目標

恵み豊かで多彩な地域資源を最大限に活かしながら、人と人とのふれあいや交流・体験を基軸とした、回遊型・滞在型の戦略的な観光を展開していきます。

成果指標



① 戦略を打ち出す

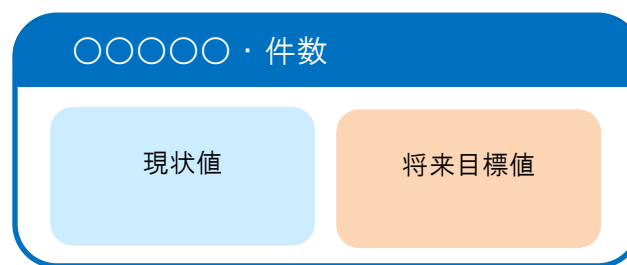
- ・ 観光の戦略を形にします。
- ・ ターゲットを明確にし、具体的な目標を立てます。
- ・ どういう方々に来てもらいたいのか、そのためには、何をどうすべきかを明らかにします。
- ・ 中心になるのは誰か、それを支えるのは誰か。主体と役割分担も位置付けます。

(2) お越しいただく方々に向けて

目標

全国の1,700を超える市町村の中から、「いわき」を発見・認識してもらい、行ってみようと思っていただくことが必要です。

成果指標



① 情報発信

- ・ 「いわき」に気づいてもらう、「いわき」というワードにたどり着いてもらう。そして、そこから、実際に、いわきに来てもらう。
- ・ そのためには、どういう情報を、どの媒体で、どう届ければ、より多くの人に届くのかなど、確かな分析の裏付けが必要です。
- ・ 分析結果に基づき、効果的に魅力を伝える情報発信を展開していきます。

(3) おもてなしする私たち

目標

いわきに来てくださった方々に、「いわきって、いいなあ」「また、来てみたいなあ」と感じていただきたい。

そうして、それを誰かに伝えてくれて、いわき応援団の輪が世界に広がるよう、いわき全体で、全力でおもてなしをします。

成果指標



① 資源の磨き上げ

- ・ 観光地として、今のままで満足しないこと。さらなる資源の磨き上げで、いわき全体でおもてなしする基盤を整えます。

② おもてなしとご提案

- ・ 市民全員が観光案内人です。「あそこもいいですよ。」「是非、あれも食べてみてください」と、プラスアルファの一言で、さらにいわきを楽しんでいただきます。

## 方針

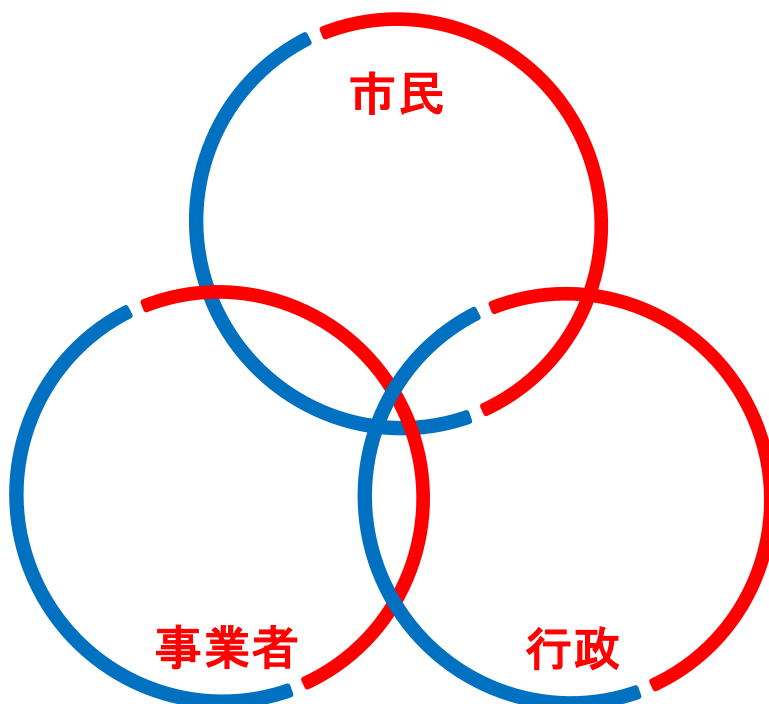
- ・人と人が出会い、話し、つながる。地域と地域が、知り合い、行き来し、つながる。身近な所では隣近所でもあるし、市内の地区同士でもあるし、いわきを超えて、別の地域ともあるし、国を飛び出して、別の国の人々ともあります。
- ・相手の顔が見えると、それは”他人事”ではなく、”じぶんごと”になります。”じぶんごと”と思える人が増えることは、いわきのまちが、元気でよりよいまちになるということです。
- ・人と人が出会くと、何かが生まれます。いわきを訪れてくれる人を、わたしたちと出会いつながってくれることを、わたしたちは歓迎します。

## 【現状・課題など】

・ H18:498→H27:497

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画




# 項目

市民協働部

教育委員会

## ● 構成する主な取組み

### (1) 活動人口を増やす

目標

社会活動に参加する方々の数を「活動人口」といいます。総人口が減少しても、活動人口が増えているまちは、活力にあふれています。

人口：30万人、活動人口：1万人  
↓  
人口：25万人、活動人口：2万人

成果指標



#### ① つながる・交流する

・ 人と人、地域と地域がつながり、交流するあらゆる活動を進めます。

#### ② コミュニティの原点

・ 自治会や町内会、消防団等がコミュニティの土台、基盤です。人口減少や少子高齢化で、維持することが困難になる中、持続可能な活動、組織のあり方を模索していきましょう。

#### ③ 活動人口を増やす

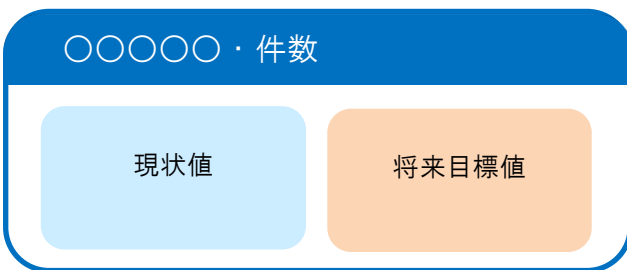
・ いわきをよくしたいという思いが発表でき、それを応援し、身近な活動に自ら参加する人を増やします。

### (2) 呼び込む

目標

多くの人に、いわきに来てもらいたい。学ぶ、働く、憩うから住むへ…。その出会いが、さらなるいわきの活力を生み出します。

成果指標



#### ① 合宿プロジェクト

・ スポーツや芸術、そして、廃炉研究や防災学習でも、「合宿をするなら、いわきで」と、多くの方々が集う環境、体制を整えます。

#### ② 医学部生との絆プロジェクト

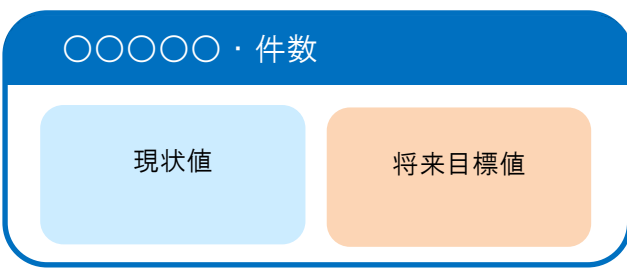
・ 医師不足は、全国と同様に、いわきでも深刻です。医師になる前の医学生のうちに、一度、いわきに来ていただく取組みを進めます。

### (3) 情報発信

目標

何かを良くしたい、何かに挑戦してみたいという人や地域の思いを実現する仕組みとして、情報発信力を高めていきます。

成果指標



#### ① 情報発信

・ 個人でも、地域でも、こんなことに困っている、こんな課題を解決したい、こんな活動をしていきたいといった情報の発信をお手伝いします。

#### ② プラットフォーム

・ つながるが探せるサイト、電子回覧板など、市内外の方々がつながれる仕組みを構築します。

## 方針

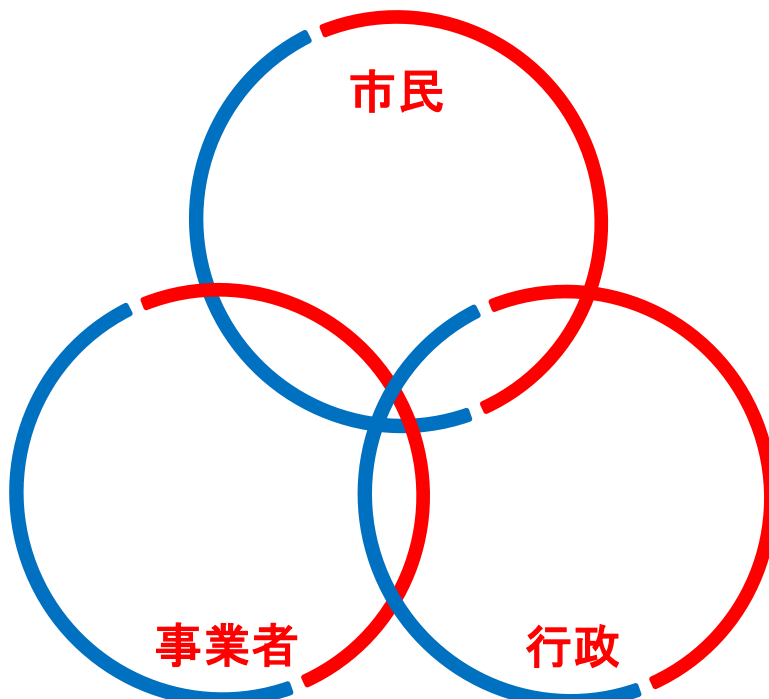
- ・ 人と人が出会い、地域と地域がつながるための基盤になるのが、“道路”と“交通”です。今よりもっと、人と地域がつながるために、安全で快適な道路と交通を確保します。
- ・ 意外に知られていないのが、自転車の保有台数。民間の調査では、自動車7,600万台に対して、自転車は7,200万台とほぼ同数となっています（平成25年）。自転車交通の安全も確保します。

## 【現状・課題など】

.

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画






項目

土木部

都市建設部

● 構成する主な取組み

(1) 道路

目標

歩行者も自動車も自転車も、安全に、そして快適に移動できるよう、国・県・市が連携して取り組みます。

特に、子どもたちの通学路の安全確保に、力を注いでいきます。

成果指標



① 安全性

- ・ 通学路（歩道、自転車道路）の安全を最優先で確保します。
- ・ 老朽化対策や線形改良、照明設置などにより、交通空間の安全性を高めます。

② 渋滞緩和と快適性

- ・ 渋滞の緩和は、移動しやすさを高め、燃費や時間的ロスによる経済的損失、排気ガスによる環境への負荷を軽減します。
- ・ 広域交通網の整備により、渋滞緩和と快適性を高めます。

(2) 交通

目標

車で移動できないに関わらず、いわきに暮らすわたしたちが、そして、いわきを訪れた方々が、より快適に移動できるまちを目指します。

成果指標



① 軸となる公共交通

- ・ 公共交通の基盤である鉄道とバス。車で移動できない方の移動手段をしっかりと確保し、快適な暮らしの実現を目指していきます。

② 軸を補完する取組み

- ・ 広い「いわき」を、より快適に移動するため、それぞれの地域特性や利用者のニーズに合った交通手段（スクールバスやデマンド交通、乗合タクシーなど）を活用します。

(3) 自転車

目標

通勤や通学をもっと安全に、まちなかや海岸沿い、河川敷を、もっと気持ちよく走れること。それが、心身の健康にもつながります。皆さんの暮らしに自転車を…。

成果指標



① 環境を整える

- ・ 快適にサイクリングロードを走れるよう、安全性と案内性を高めます。

② 機会を創り出す

- ・ 競輪場でのイベントやサイクルフェスティバルの開催など、自転車を楽しむ機会を設けます。
- ・ レンタサイクルの導入など、もっと自転車を身近に親しむ機会を設けます。

## 方針

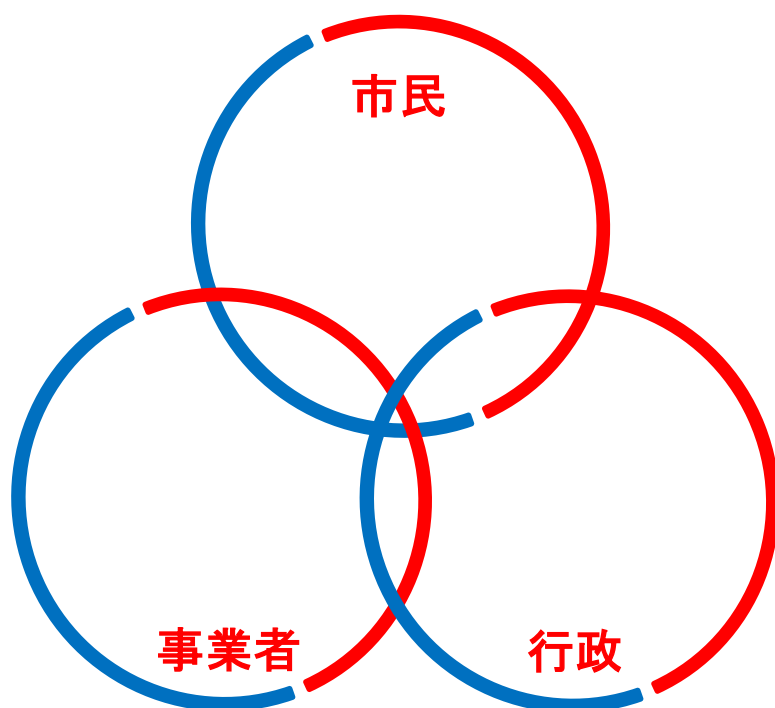
- ・わたしたちの歴史や伝統文化に根ざし、かつ、将来や未来に向けたビジョンも入っている、いわきらしい、いわき独自のぶれない軸としてのコンセプトを、共に作り上げましょう。
- ・わたしたち一人ひとりが、そのコンセプトを共有し、結束と一体感を高めます。
- ・わたしたちが一体感を持ち、ぶれないコンセプトに基づき活動することが、いわきというまちの都市ブランドになり、一層、わたしたちの一体感を高めるとともに、市内外のファンを増やすことにつながります。

## 【現状・課題など】

.

## それぞれの取り組み

## 関連する個別計画




# 項目

行政経営部

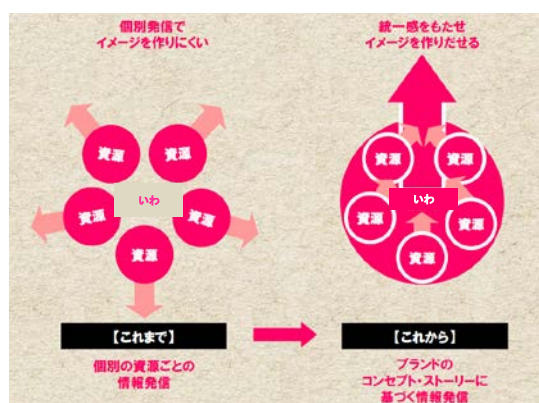
## ● 構成する主な取組み

### (1) ブランディング

目標

いわきが住む場所として素晴らしいということを、まず、住んでいるいる方々に実感していただきたい。

世代や地域、立場を超えて、「これが、いわきだ」と、できる限り多くの方々が共感し、共有できる「いわきブランド」を創り上げます。



成果指標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

#### ① 良さを再認識する

- ・ 自然やグルメ、名所、イベント、暮やすきなど、「何でもある」多様ないわきの魅力を整理し、誰にとって何がいいのかを明らかにします。

#### ② 新たな良さを創り出す

- ・ 地場産品など、多様な資源の良さをつなぎ、新たな価値観を創り出します。  
※いわきの特産品の組み合わせによる土産メニュー「いわきおばんざいセット」の販売など。

#### ③ 市民がいわきを好きになる

- ・ 住んでいる方々が、いわきに興味を持ち、積極的に楽しむ仕掛けを創ります。

#### ④ いわきファンを創り出す

- ・ 市内外を問わず、いわきを好きになり、気に掛ける「いわきファン」を増やします。定住・移住・観光リピーターで、いわきを明るく元気に。

### (2) プロモーション・発信

目標

「いわきって面白そう」、「いわき、いいな」と、多くの人に思ってもらえるよう、産学官民が連携して、それぞれの特徴を活かしながら、「いわきブランド」を统一的に発信していきます。

成果指標

○○○○○・件数

現状値

・ ・ 件

将来目標値

・ ・ 件

#### ① プロモーション・発信

- ・ 定住、U・I・Jターン、観光など、いわきに来るきっかけ、年代、世帯構成、性別などを、ニーズの違いを認識しながら、異なる良さを的確に捉え、面的なプロモーションを行います。
- ・ そのための素材としての動画の制作や、いわき応援大使を活用したシテイプロモーションに取り組みます。